

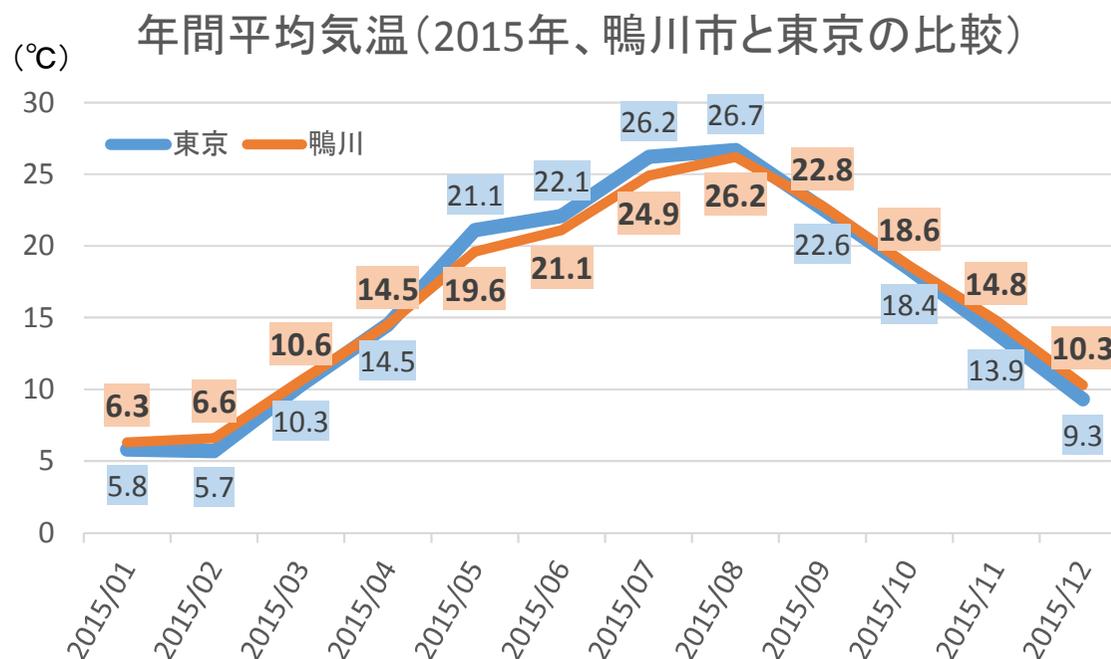
鴨川市の現状と課題

2016年9月26日

人口・産業の特徴や地域資源

位置・地勢・気候

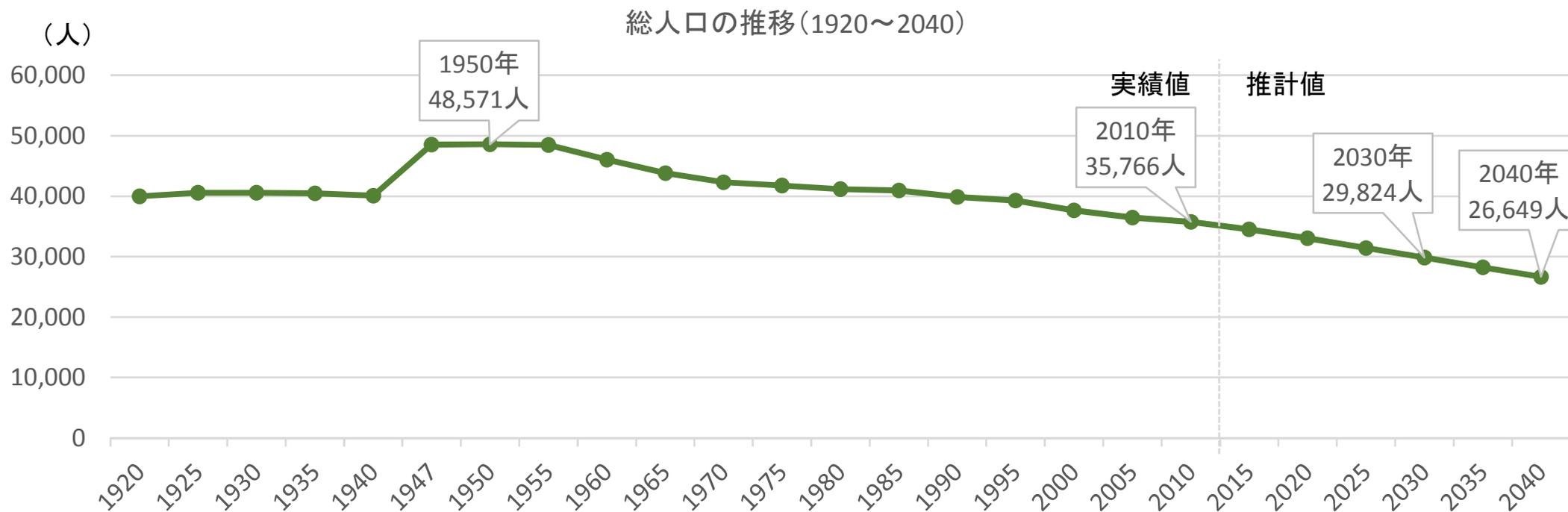
- 現在の市域は東西に約26km、南北に約18km、総面積は191.14km²を有し、東京都心部は約80km圏、県都千葉市は約50km圏の距離にある。
- 東は勝浦市、西は南房総市と鋸南町、北は君津市、富津市、大多喜町に接し、南は太平洋に面した**豊かな自然環境**にある。
- 年間平均気温は、**最も平均気温が低い1月でも6.3度、1・2月以外は10度を超える温暖な気候**である。
- 全般的に平坦地が少なく、北部から東部に連なる清澄山系と市の中央部を横断する嶺岡山系との間に細長く長狭平野が開け、**太平洋と面した地域に市街地が形成**されている。



出所) 気象庁 (2016/08/30データ取得)

人口の推移と高齢化

- 戦後人口が急増したが、1950年代半ばから減少に転じた。
- 1970年代以後、人口減少のペースが比較的緩やかになったものの、バブル経済の始まった1980年半ばに入ると再び減少のペースが加速。
- 1950年の48,571人をピークに減少を続けており、国立社会保障・人口問題研究所によると、2030年には29,824人と3万人を割り込み、2040年には26,649人になると推計されている。

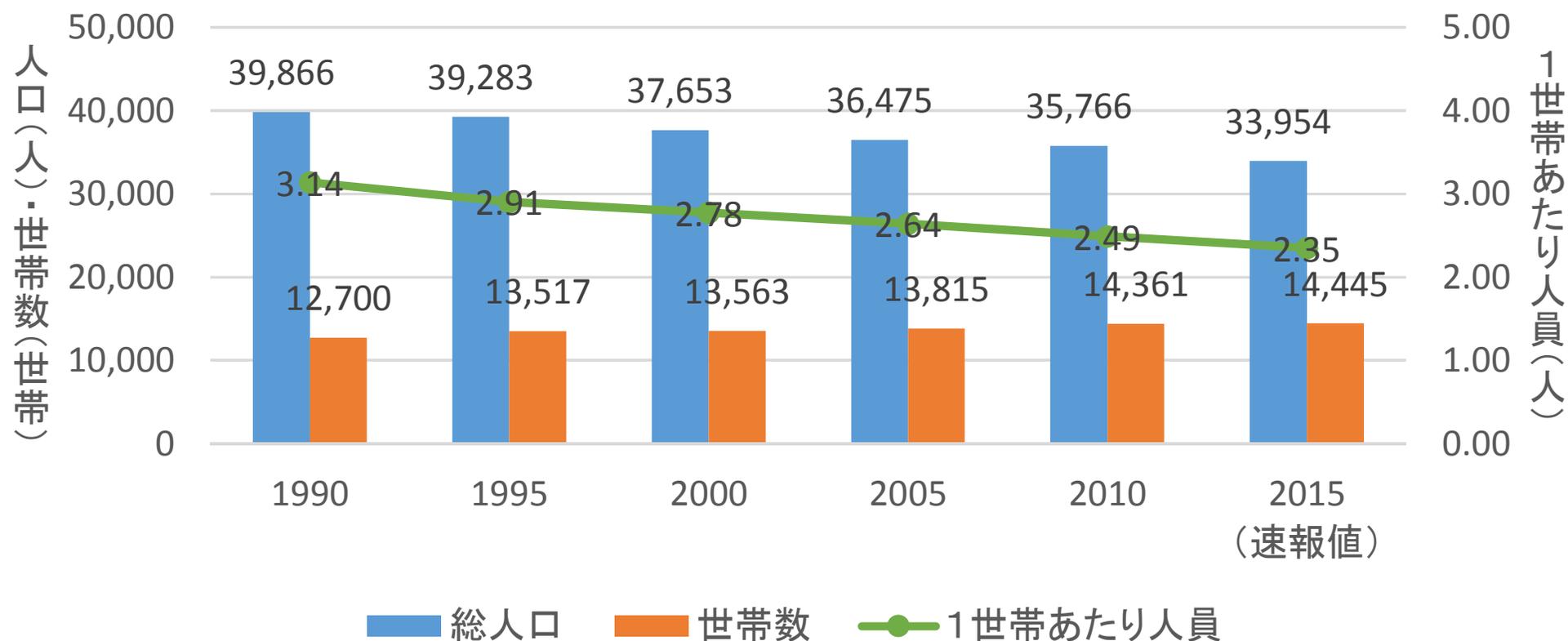


出所) 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」
(<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/newest04/sh2401top.html>) を加工して作成

人口の推移と高齢化

- 1950年の48,571人をピークに一貫して減少しているが、世帯数は増加傾向にあり、1世帯当たりの人員も減少が続いている。

人口・世帯・世帯人員推移(1990～2015)

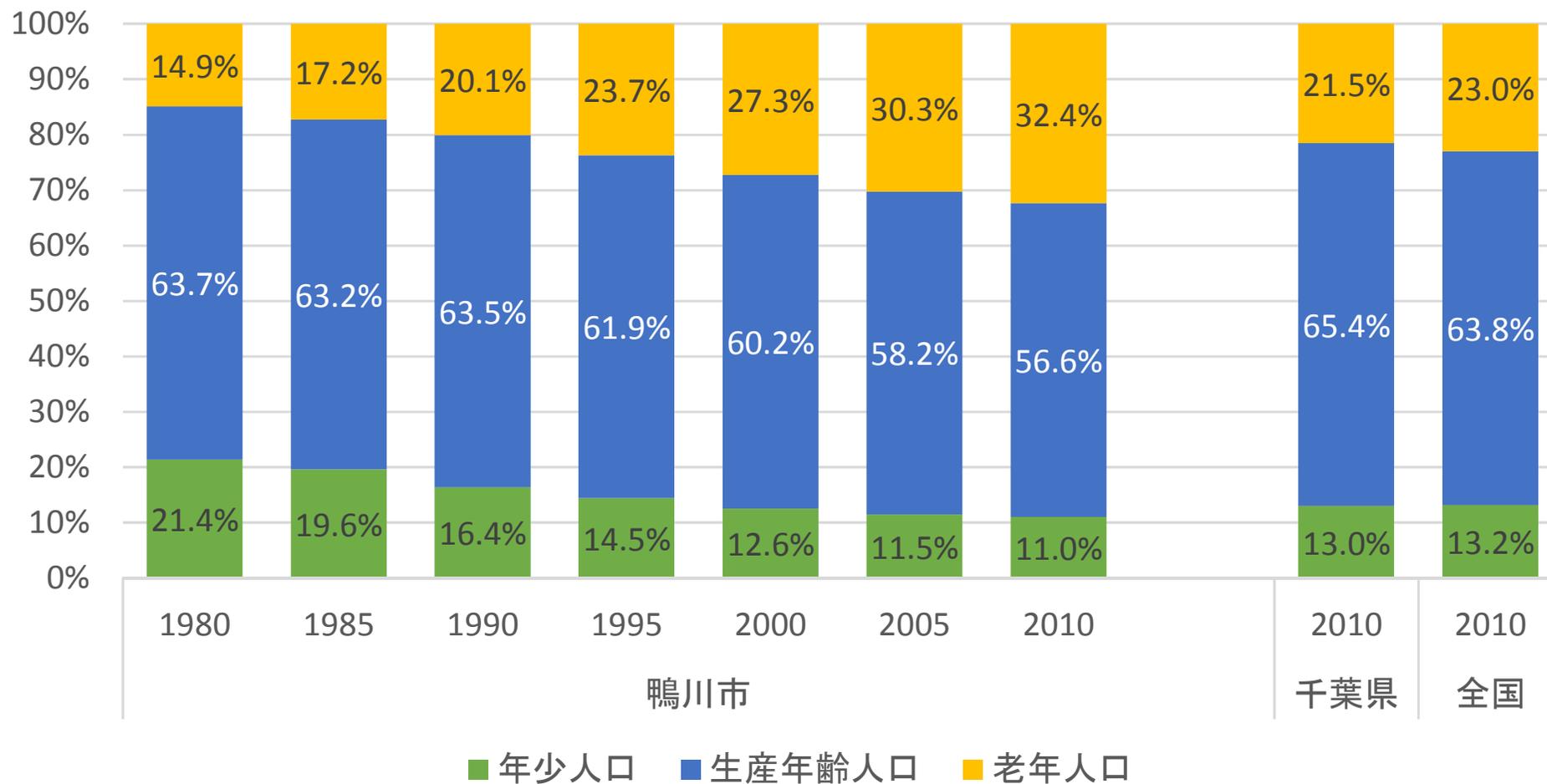


出所) 総務省統計局「国勢調査」、総務省統計局「国勢調査：人口速報集計（要計表による人口集計）結果（平成27年）」

人口の推移と高齢化

- 2010年における年齢3区分別人口の構成は、年少人口（0～14歳）が11.0%、生産年齢人口（15～64歳）が56.6%、老年人口（65歳以上）が32.4%と、全国や県の平均よりも少子高齢化が進行。

年齢3区分別人口割合の推移(1980～2010)

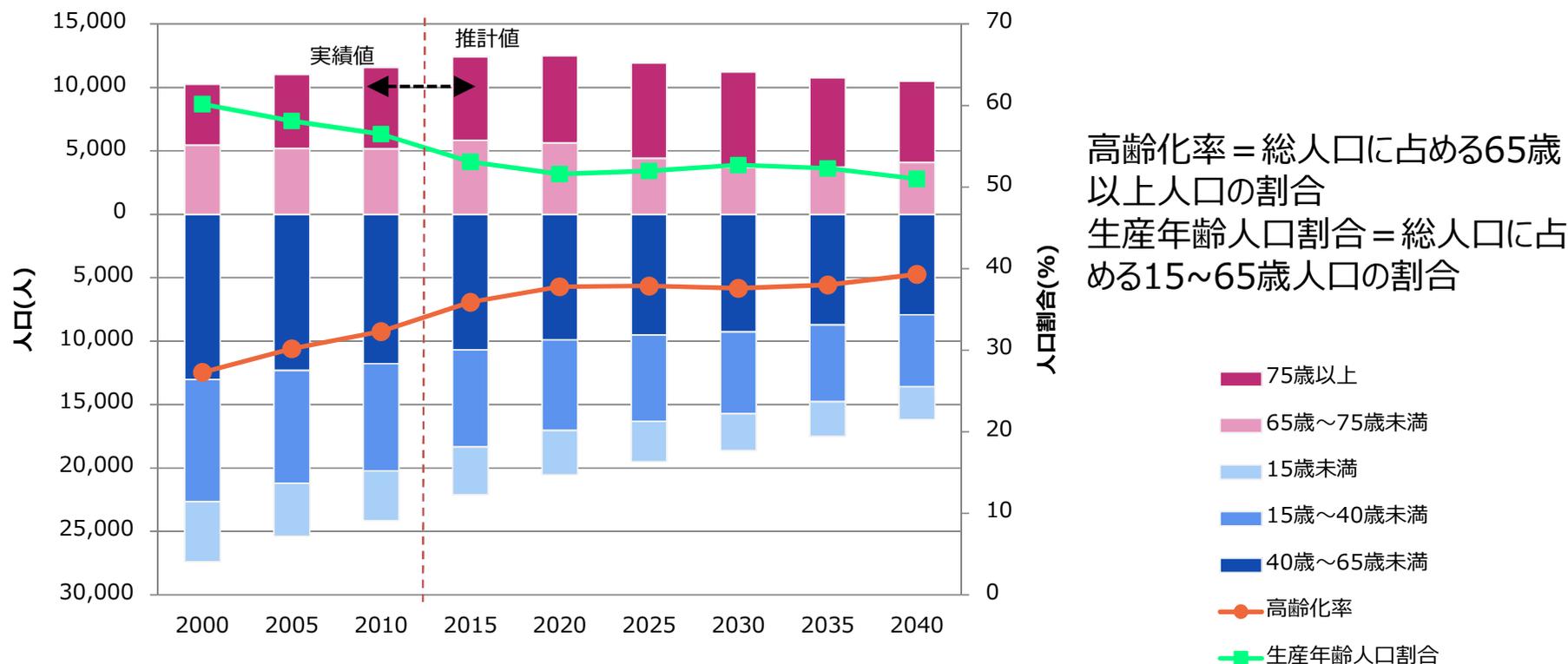


出所) 総務省統計局「国勢調査」

人口の推移と高齢化

- 人口構成は、**老年人口（65歳以上）のうち特に75歳以上高齢者の人数・割合が増加すると予想される。**
- **高齢化率は、2020年まで上昇傾向にあるが、それ以降はほぼ横ばい、2040年時点の高齢化率は39.3%。** **生産年齢人口割合も2020年まで減少するが、それ以降はほぼ横ばいとなっている。**

鴨川市の高齢化と人口の推移



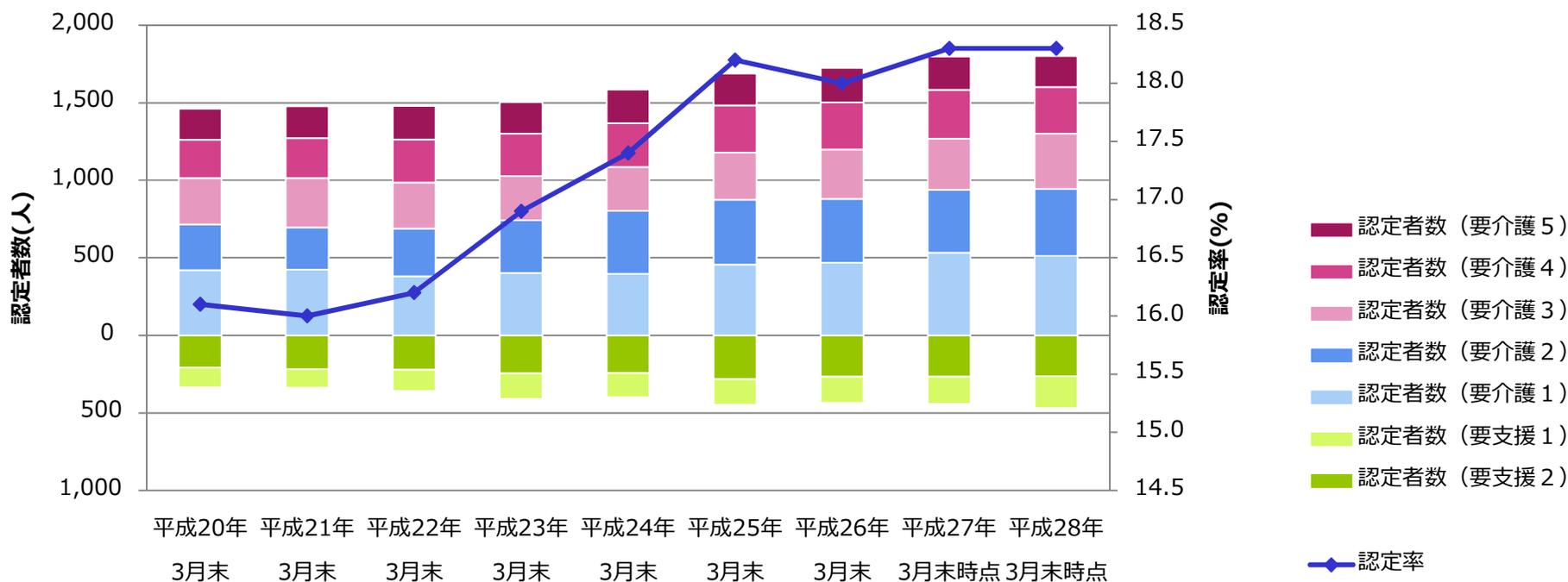
(出典) 2000年~2010年まで：総務省「国勢調査」

2015年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

介護の現況

- 鴨川市の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移は、平成22年以降、認定率が上昇し、平成25年時点からほぼ横ばいの傾向にある。
- 要支援～要介護2までの比較的軽度でサービスを受けながら在宅で過ごすことができる中高齢者が半数以上を占めることから、これらの中高齢者の要介護度の進行を防ぐこと、新たな要支援・要介護者を増やさない健康増進の取り組みが求められる。

鴨川市の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移

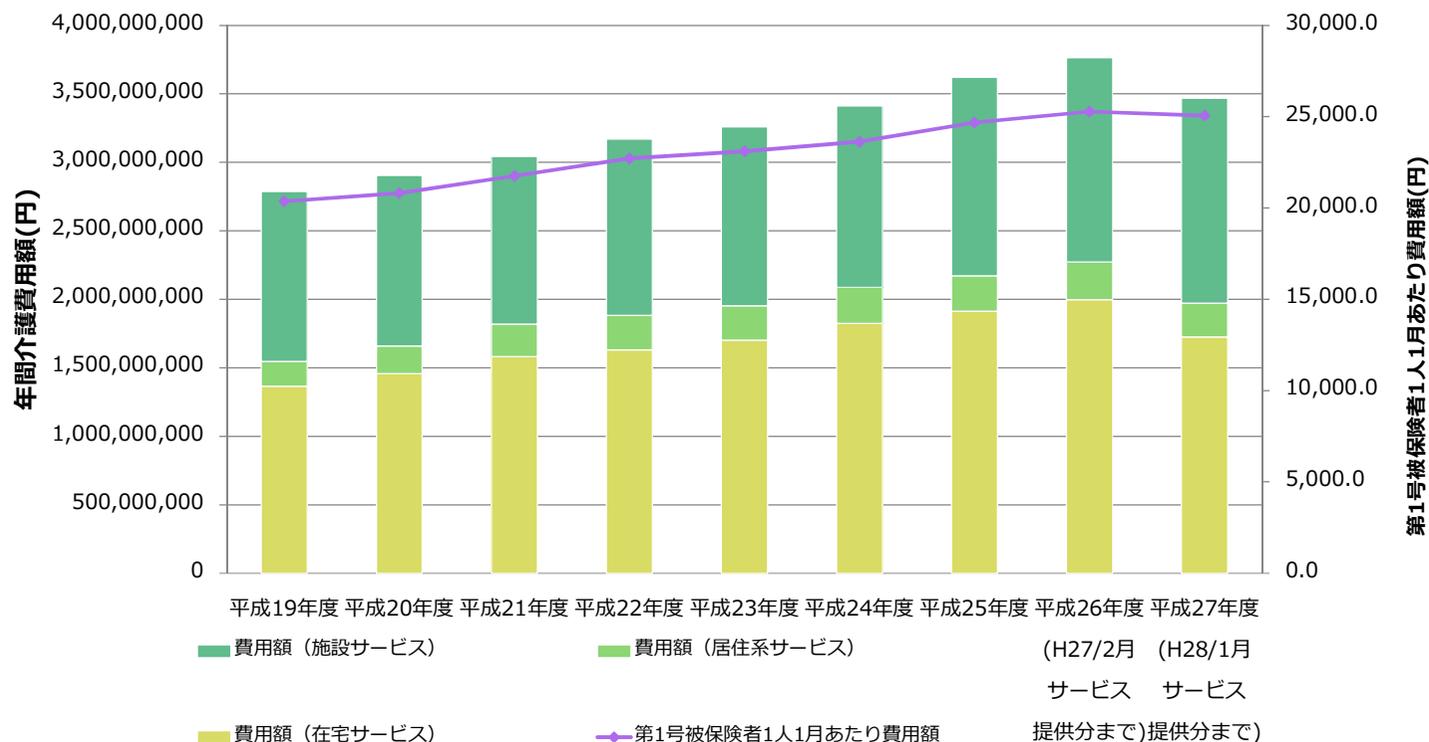


(出典) 平成19年度から平成25年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、平成26年度から平成27年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」

介護の現況

- 鴨川市の介護費用額の推移をみると増加傾向で推移しており、**施設サービスと在宅サービスが占める割合が高い。**
- 第1号被保険者（65歳以上）一人当たりの費用額（平成28年1月末時点、実績）をみると、**千葉県内で2番目に高い数値**となっている。

鴨川市の介護費用額の推移



鴨川市の第1号被保険者1人1月あたりの費用額の降順 (平成28年1月末時点)		
千葉県内	2番目	54保険者
全国	582番目	1,579保険者

(出典) 【費用額】平成19年度から平成25年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、平成26年度：「介護保険事業状況報告(月報)」の12か月累計、平成27年度：直近月までの「介護保険事業状況報告(月報)」の累計(※補足給付は費用額に含まれていない)

鴨川市における介護の現況

- 第1号被保険者（65歳以上）の方の平成27～29年度における介護保険料基準額（第6期事業計画で推計した結果）は、
 - ◆ 全国の1,579保険者中、第339位
 - ◆ 1都3県の210保険者中、第12位
 - ◆ 千葉県の54保険者中、**第1位**
 となっており、**全国的に高い水準にある。**

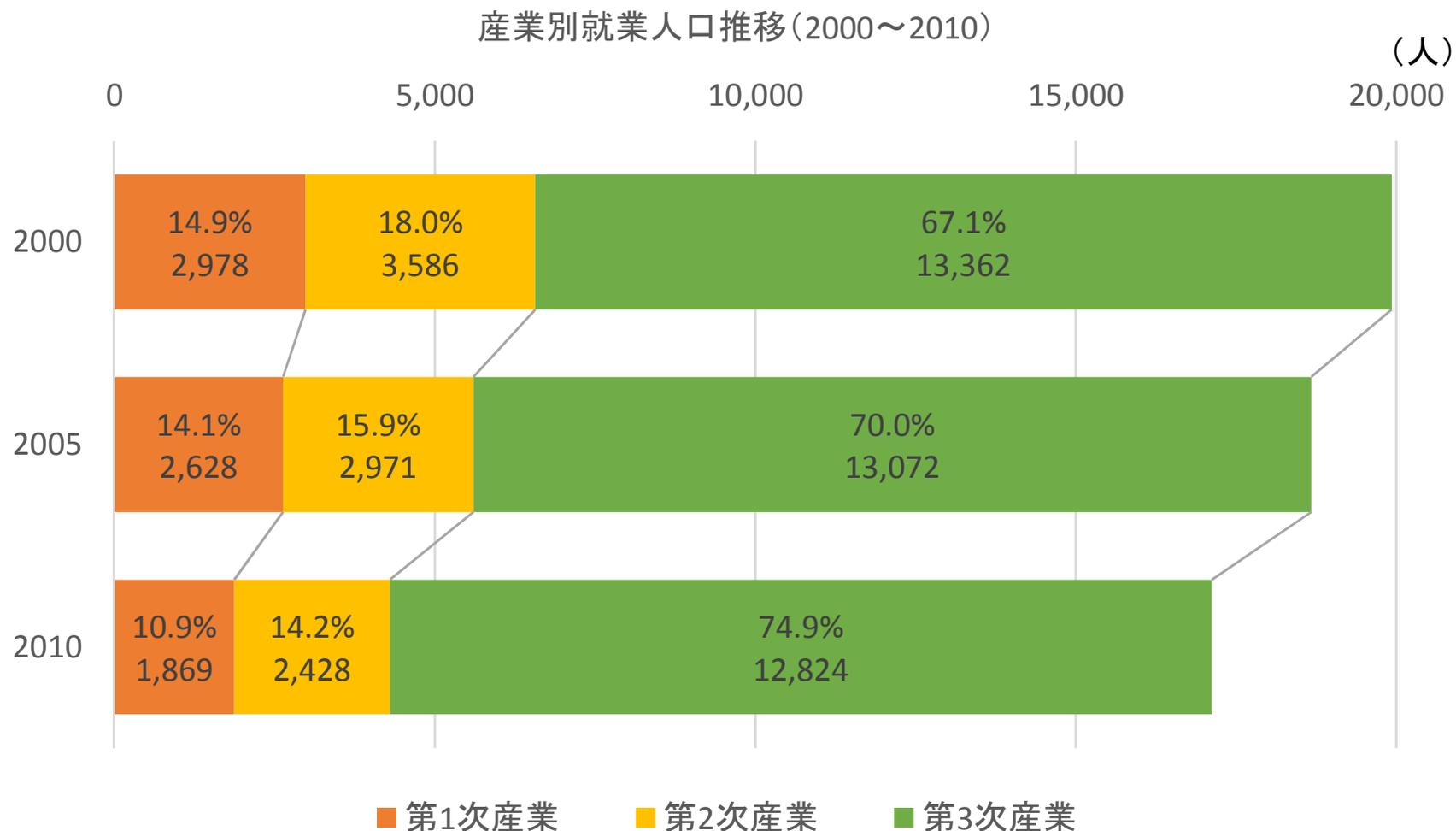
第6期計画期間（平成27年度～29年度）の介護保険の第1号保険料

	全 国 (1,579保険者平均額)	千葉県 (県平均額)	鴨川市
第6期保険料 基準額（月額）	5,514円	4,958円	5,895円
順位			<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全国の1,579保険者中、<u>第339位</u> ◆ 1都3県の210保険者中、<u>第12位</u> ◆ 千葉県の54保険者中、<u>第1位</u>

出所) 厚生労働省「第6期計画期間・平成37年度等における介護保険の第1号保険料及びサービス見込み量等について」(平成27年4月28日報道発表資料)
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000083954.html>

産業

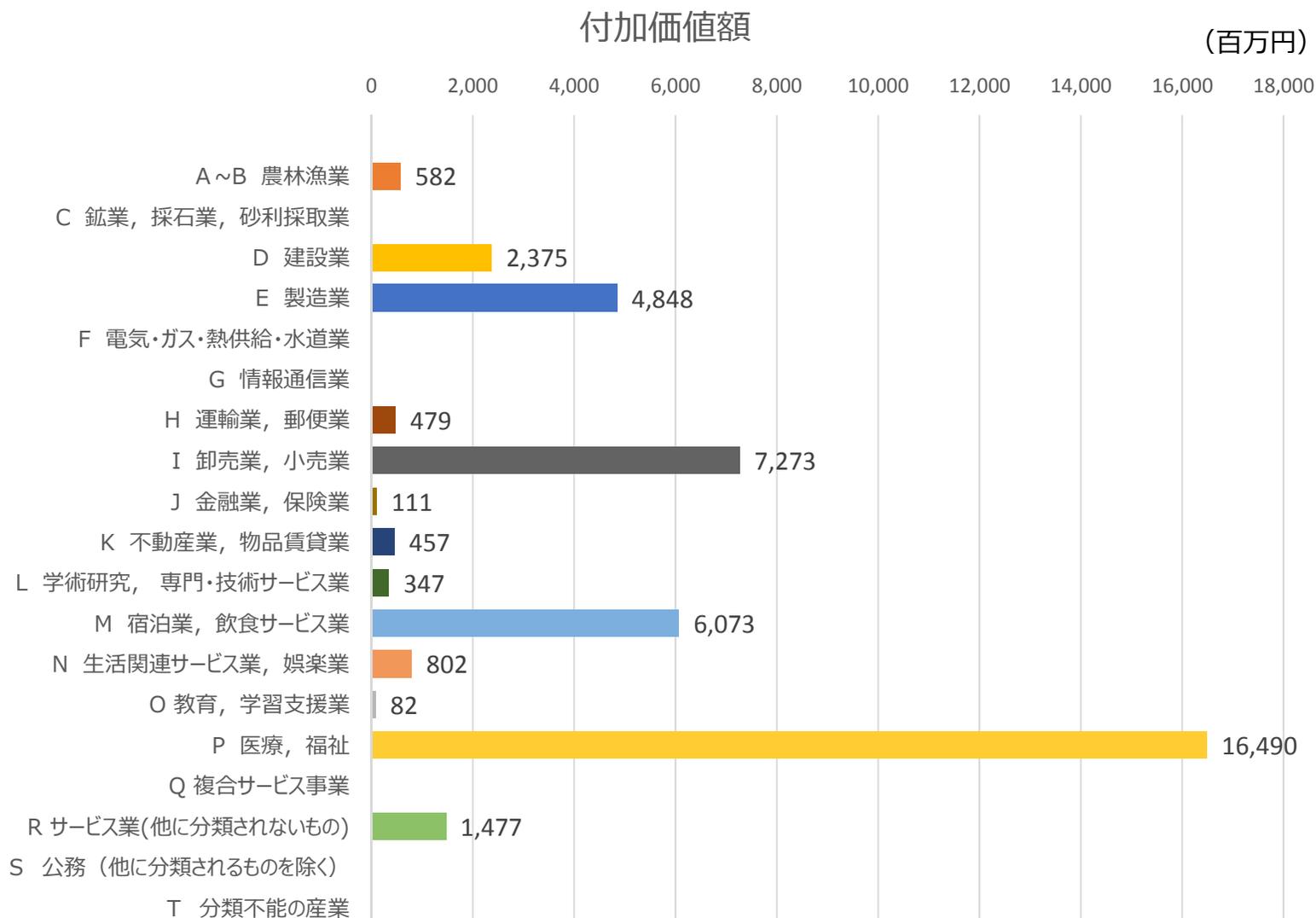
- 人口減少が進む中、鴨川市の**就業人口も減少傾向**にある。
- 産業別には、第一次、第二次産業従事者の割合が減少、第3次産業従事者の割合が徐々に増加し、2010年時点で74.9%となっている。



出所) 総務省統計局「国勢調査」※分類不能の産業を除いて集計

産業

■ 産業別の付加価値額をみると、医療・福祉が最も大きく、次いで卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業となっている。

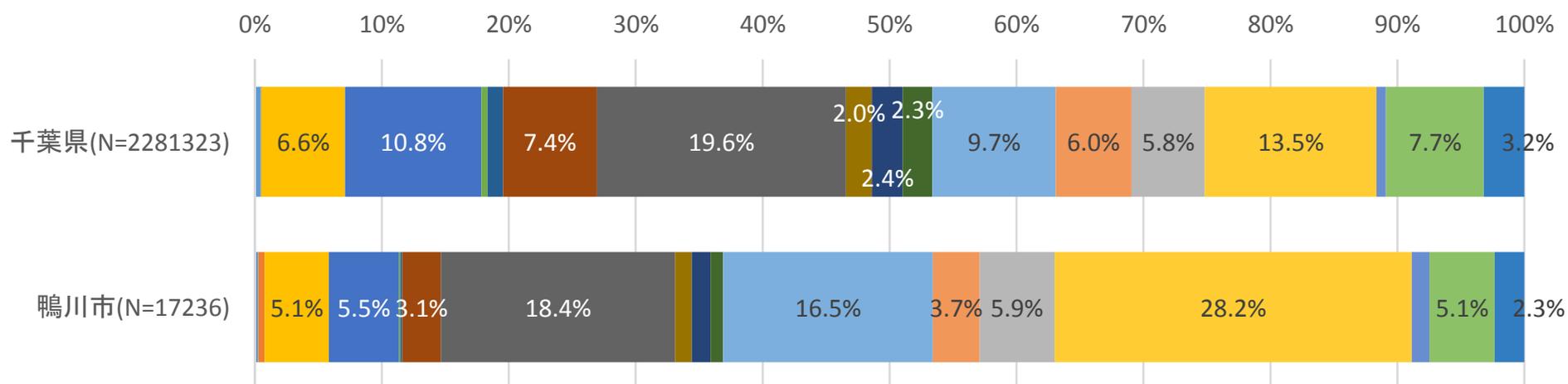


出所) 総務省統計局「経済センサス活動調査(平成24年)」 ※付加価値額は、農林漁業に属する個人経営の事業所等は除く。
※秘匿措置が講じられたデータ(C、G、Q)は表示していない。

産業

- 産業別の従業者数で見ると、医療福祉が約3割を占め、最大の産業であり、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業がこれに次ぐ。
- 千葉県平均と比較すると、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業の割合は千葉県平均を大きく上回り、医療・福祉、観光が鴨川の基幹産業といえる。

産業別従業者数の割合

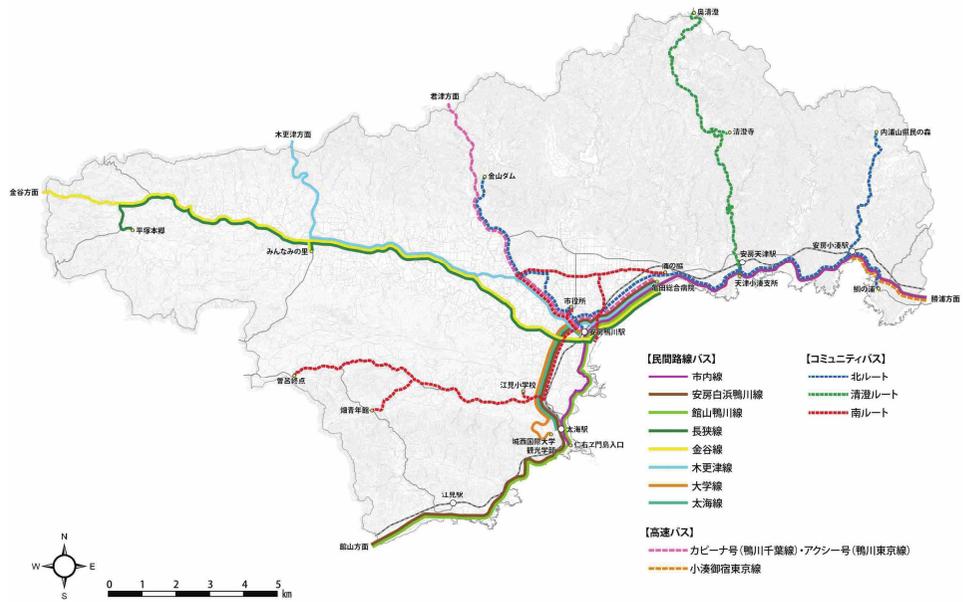
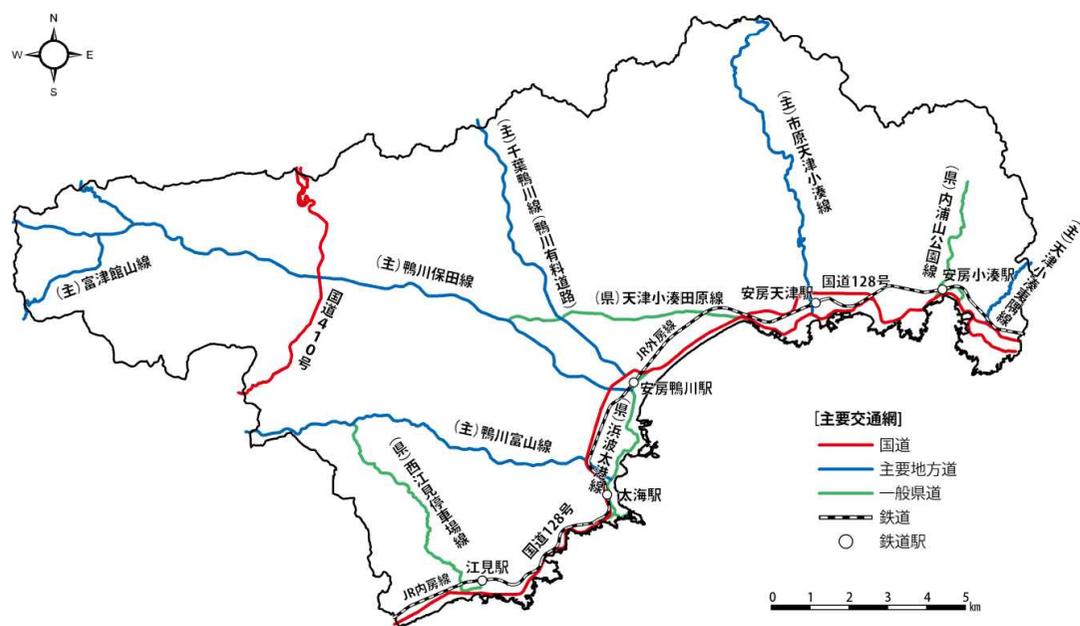


- A 農業, 林業
- B 漁業
- C 鉱業, 採石業, 砂利採取業
- D 建設業
- E 製造業
- F 電気・ガス・熱供給・水道業
- G 情報通信業
- H 運輸業, 郵便業
- I 卸売業, 小売業
- J 金融業, 保険業
- K 不動産業, 物品賃貸業
- L 学術研究, 専門・技術サービス業
- M 宿泊業, 飲食サービス業
- N 生活関連サービス業, 娯楽業
- O 教育, 学習支援業
- P 医療, 福祉
- Q 複合サービス事業
- R サービス業(他に分類されないもの)
- S 公務(他に分類されるものを除く)

出所) 総務省統計局「経済センサス基礎調査 (平成26年)」

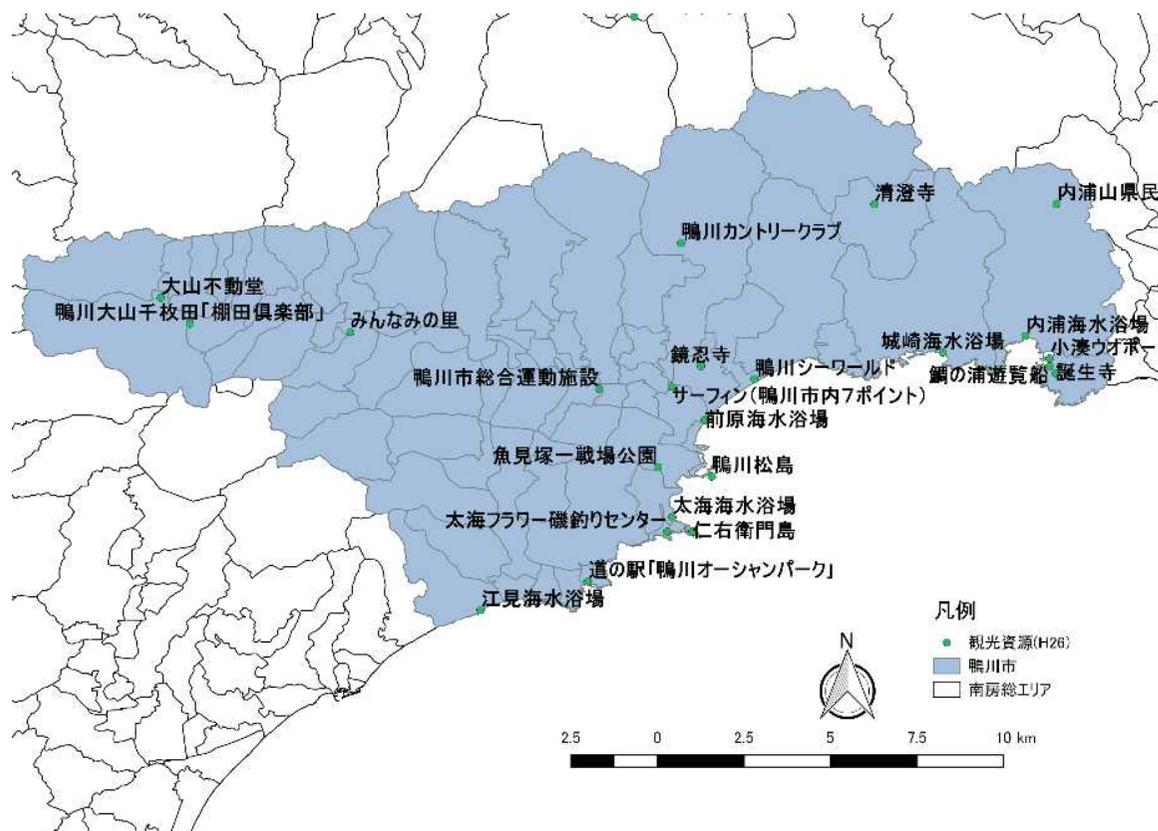
交通

- 主要幹線道路は、沿岸部を横断する国道128号、市西部を縦断する国道410号。鴨川市と周辺市町を結ぶ幹線道路として主要地方道6路線、一般県道4路線が整備されている。
- 鉄道は、沿岸部にJR外房線及びJR内房線が運行、市内に5駅を有する。うち、安房鴨川駅は両路線の結節点として重要な位置にある。
- 平成27年時点で、市内のバス交通はコミュニティバス3路線、民間バス8路線、鴨川市と東京・千葉間を結ぶ高速バスが3路線。
- 沿岸部は交通アクセスに恵まれるが、内陸部の交通インフラは脆弱である。また、沿岸部でも千葉・東京都心部まで1時間半程度を要し、現状では、通勤は難しい条件にある。



観光

- 鴨川市における観光資源としては、**スポーツや歴史文化に関連した施設が多い。**
- これらの観光資源は沿岸部に集中するが、棚田など山間部の特有の資源も存在する。

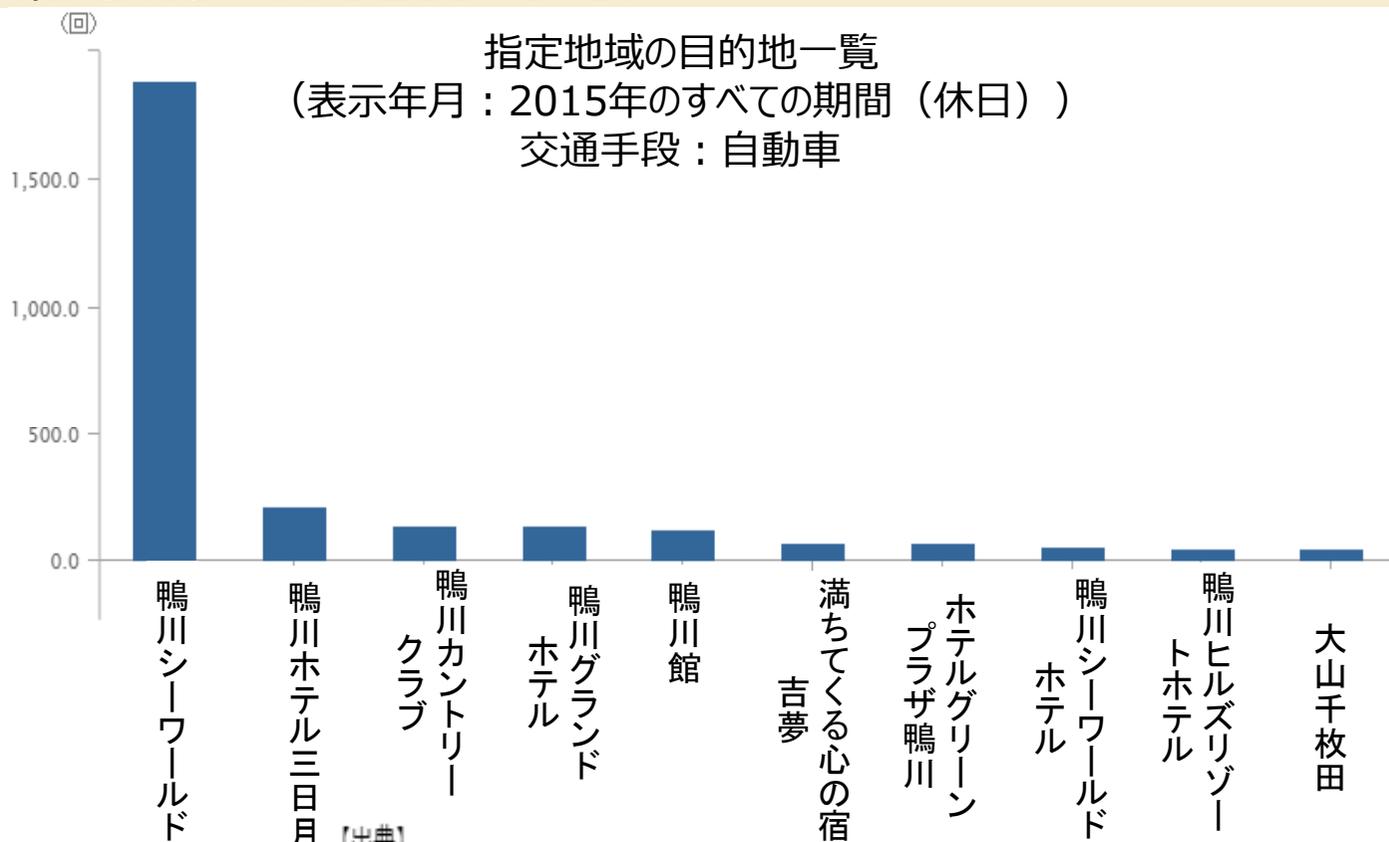


施設名	種類	施設名	種類
鴨川シーワールド	歴史・文化	鴨川カントリークラブ	スポーツ・レクリエーション
道の駅「鴨川オーシャンパーク」	その他	前原海水浴場	スポーツ・レクリエーション
誕生寺	歴史・文化	魚見塚一戦場公園	スポーツ・レクリエーション
みんなみの里	都市型観光-買い物・食-	城崎海水浴場	スポーツ・レクリエーション
海釣り(鴨川市全域)	スポーツ・レクリエーション	内浦海水浴場	スポーツ・レクリエーション
内浦山県民の森	スポーツ・レクリエーション	仁右衛門島	歴史・文化
サーフィン(鴨川市内7ポイント)	スポーツ・レクリエーション	鏡忍寺	歴史・文化
鯛の浦遊覧船	歴史・文化	鴨川大山千枚田「棚田倶楽部」	自然(行催事・イベント)
小湊ウオポート	都市型観光-買い物・食-	鴨川松島	自然(行催事・イベント)
太海フラワー磯釣りセンター	歴史・文化	太海海水浴場	スポーツ・レクリエーション
清澄寺	歴史・文化	大山不動堂	歴史・文化
鴨川市総合運動施設	スポーツ・レクリエーション	江見海水浴場	スポーツ・レクリエーション

出所) 国土数値情報(国土交通省)

観光

- 鴨川市における広域的な観光資源（宿泊施設や温泉、レジャー施設、商業施設等）のうち、経路検索回数が最も多い目的地は「鴨川シーワールド」。そのほか「鴨川ホテル三日月」をはじめとした宿泊施設や「大山千枚田」も検索回数が多い目的地となっている。



【出典】
株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

【注記】
 検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。
 ・施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当
 ・年間検索回数が自動車は50回、公共交通は30回以上
 ・年間検索回数が全国1000位以内または都道府県別50位以内または市区町村別10位以内

観光

- 鴨川市内の滞在人口（鴨川市内に2時間以上滞在した人）は、平日・休日ともほぼ千葉県内の方が占める（平日：97.0%、休日88.8%）。
- 県外からの滞在者は、平日・休日とも東京都、神奈川県、埼玉県などの近隣都県からが多い。
- 休日では、上記のほか、茨城県、福島県、栃木県といった北関東方面からの滞在者も存在する。

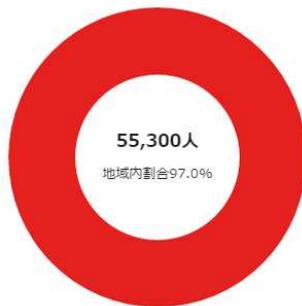
千葉県鴨川市 平日
都道府県 → 市区町村

滞在人口合計：57,000人（滞在人口率：1.59倍）

（国勢調査人口：35,766人）

滞在人口 / 都道府県内

（都道府県単位）
2015年

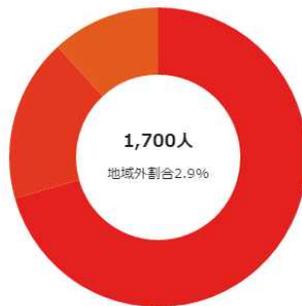


滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 千葉県 55,300人 (100.0%)

滞在人口 / 都道府県外

（都道府県単位）
2015年



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 東京都 1,200人 (70.5%)
- 2位 神奈川県 300人 (17.6%)

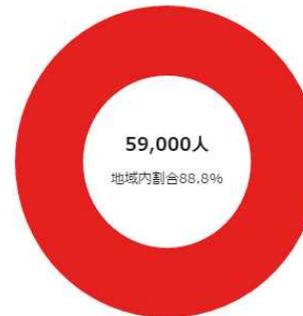
千葉県鴨川市 休日
都道府県 → 市区町村

滞在人口合計：66,400人（滞在人口率：1.86倍）

（国勢調査人口：35,766人）

滞在人口 / 都道府県内

（都道府県単位）
2015年

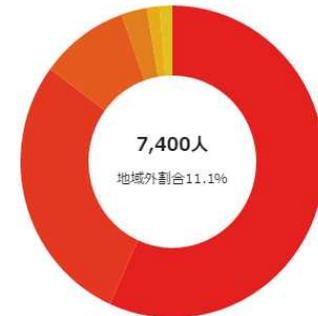


滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 千葉県 59,000人 (100.0%)

滞在人口 / 都道府県外

（都道府県単位）
2015年



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 東京都 4,200人 (56.7%)
- 2位 神奈川県 2,100人 (28.3%)
- 3位 埼玉県 700人 (9.4%)
- 4位 茨城県 200人 (2.7%)
- 5位 福島県 100人 (1.3%)
- 6位 栃木県 100人 (1.3%)

【出典】

株式会社Agoop「流動人口データ」

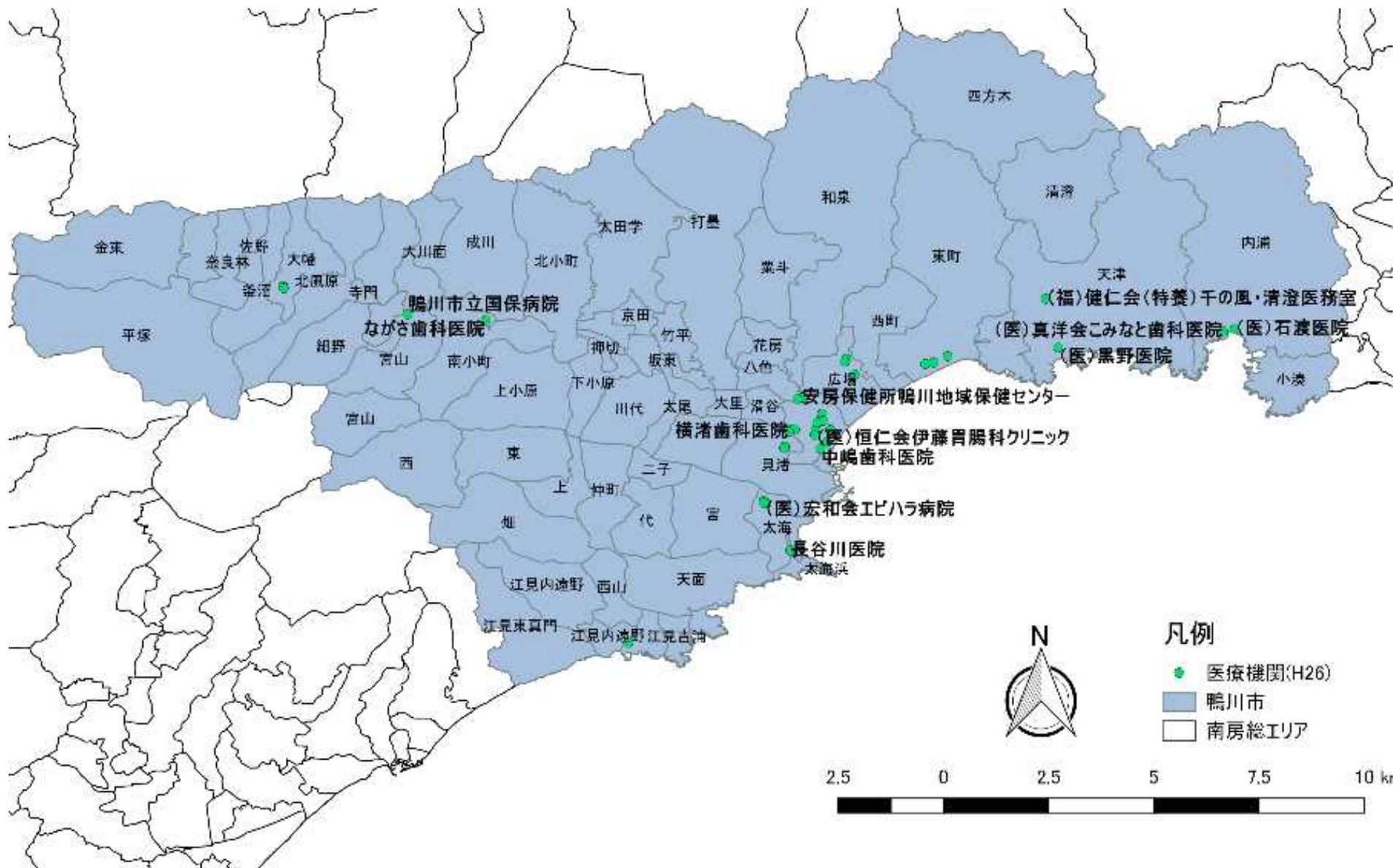
【注記】

滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が2時間の人口を表している。

熊本市の区については、熊本市が平成24年4月に政令指定都市となったため、平成22年の国勢調査人口が区単位になっておらず、滞在人口率は計算されない。

医療福祉

■沿岸部に医療機関が集中している。内陸部は市立国保病院程度に限られる。



出所) 国土数値情報 (国土交通省)

医療福祉

【参考】鴨川市内の医療機関一覧(2014年)

病院名	種別
(医) 宏和会エビハラ病院	内科 リハビリテーション科 歯科
(医) 三紫会小田病院	内科 胃腸科 小児科 整形外科 皮膚科 リハビリテーション科
(医) 鉄蕉会亀田総合病院	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 精神科 神経内科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 産科 婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 皮膚科 泌尿器科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 歯科 心療内科
(医) 鉄蕉会亀田リハビリテーション病院	リハビリテーション科
鴨川市立国保病院	内科 外科 整形外科 小児科 歯科 神経内科 呼吸器内科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科 歯科口腔外科 皮膚科 循環器内科 リハビリテーション科
(医) 明星会東条病院	内科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 リハビリテーション科 放射線科
(医) 明星会東条メンタルホスピタル	精神科 神経科
安房保健所鴨川地域保健センター	内科 小児科
(医) 房悠会石川外科内科クリニック	内科 胃腸科 小児科 外科 小児外科 リハビリテーション科 整形外科
(医) 石渡医院	内科 小児科
(医) 恒仁会伊藤胃腸科クリニック	内科 胃腸科 外科 肛門科
(医) 鉄蕉会亀田クリニック	内科 心療内科 精神科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 アレルギー科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 形成外科 美容外科 脳神経外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科
鴨川アイクリニック	眼科
川邊整形外科クリニック	整形外科 リハビリテーション科
(医) 黒野医院	内科 呼吸器科 小児科
障害者支援施設しあわせの里	内科
身体障害者療護施設嶺岡園診療室	内科 外科 皮膚科 リハビリテーション科
(福) 健仁会(特養)千の風・清澄医務室	内科 精神科
(特養)めぐみの里	内科 精神科 神経科 整形外科 歯科
長谷川医院	内科 小児科 皮膚科
(医) 前川小児科クリニック	小児科
真木クリニック	内科 心療内科 精神科 神経内科 小児科
(医) 三橋医院	眼科
(医) 宏和会嶺岡クリニック	内科
(福) 東明会養護老人ホーム緑風荘	内科
鴨川歯科室	歯科
(医) 真洋会こみなと歯科医院	歯科
(医) こんどう小児歯科	歯科 小児歯科 矯正歯科
(医) 堯舜会歯科かもがわデンタルクリニック	歯科 矯正歯科 小児歯科 歯科口腔外科
高橋歯科医院	歯科 矯正歯科 小児歯科
とうしま歯科	歯科
ながさ歯科医院	歯科
中嶋歯科医院	歯科 矯正歯科
のぞみ歯科医院	歯科 小児歯科
横渚歯科医院	歯科

医療福祉

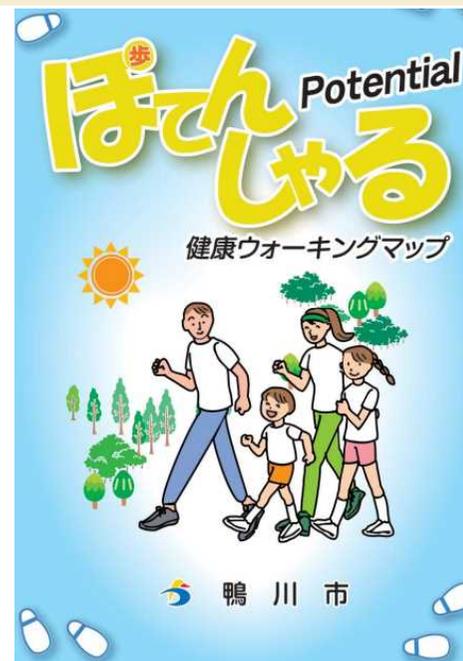
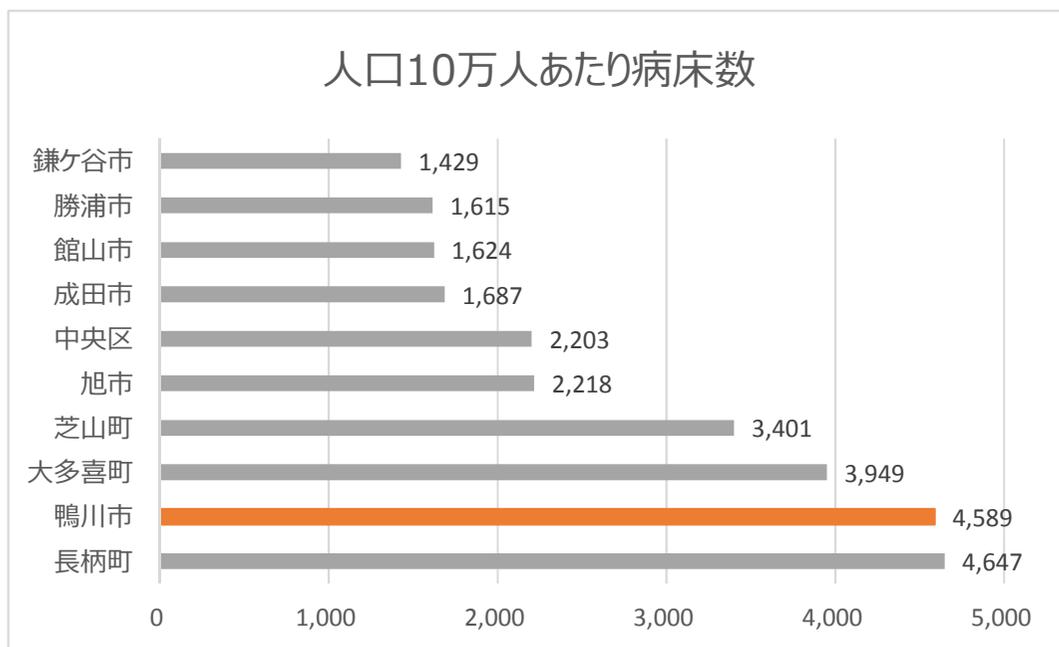
- 介護施設のうち、最も数が多いのは在宅（居宅）介護サービス。またサービス付き高齢者住宅は市内で1箇所となっている。

区分	鴨川市内	
	施設数	
施設サービス	8	
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	3	
介護老人保健施設	1	
介護療養型医療施設	4	
在宅（居宅）介護サービス	68	
訪問サービス	22	
訪問介護	13	
訪問入浴介護	1	
訪問看護	6	
訪問リハビリテーション	2	
通所サービス	12	
通所介護（デイサービス）	10	
通所リハビリテーション（デイケア）	2	
療養通所介護	-	
短期入所サービス	8	
短期入所生活介護（ショートステイ）	3	
短期入所療養介護（ショートステイ）	5	
特定施設入居者生活介護	1	
福祉用具貸与	3	
特定福祉用具販売	3	
居宅介護支援（ケアマネージャー）	19	

区分	鴨川市内	
	施設数	
地域密着型サービス	6	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	
小規模多機能型居宅介護	1	
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	4	
認知症対応型通所介護	1	
夜間対応型訪問介護	-	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	-	
地域密着型特定施設入居者介護	-	
複合型サービス	-	
その他	12	
サービス付き高齢者向け住宅	1	
有料老人ホーム	2	
軽費老人ホーム	1	
老人憩の家	2	
老人福祉センター	1	
在宅介護支援センター	2	
地域福祉センター	1	
地域包括支援センター	2	

医療福祉

- 鴨川市全体では、人口10万人あたり病床数が、長柄町に次いで千葉県内市区町村第2位となっている。
- 産婦人科・産科医数（15～49歳女性人口あたり）や小児科医数（年少人口あたり）も、千葉県平均と比較して高い。
- 健康増進の取り組みとして、「歩く」ことから健康づくりに取り組むことを目指す「健康ウォーキングマップ ほてんしゃる」の配布なども行っている。



出所) 鴨川市ホームページ

出所) 医療施設調査 2014年(厚生労働省)、国勢調査 2015年(総務省統計局)

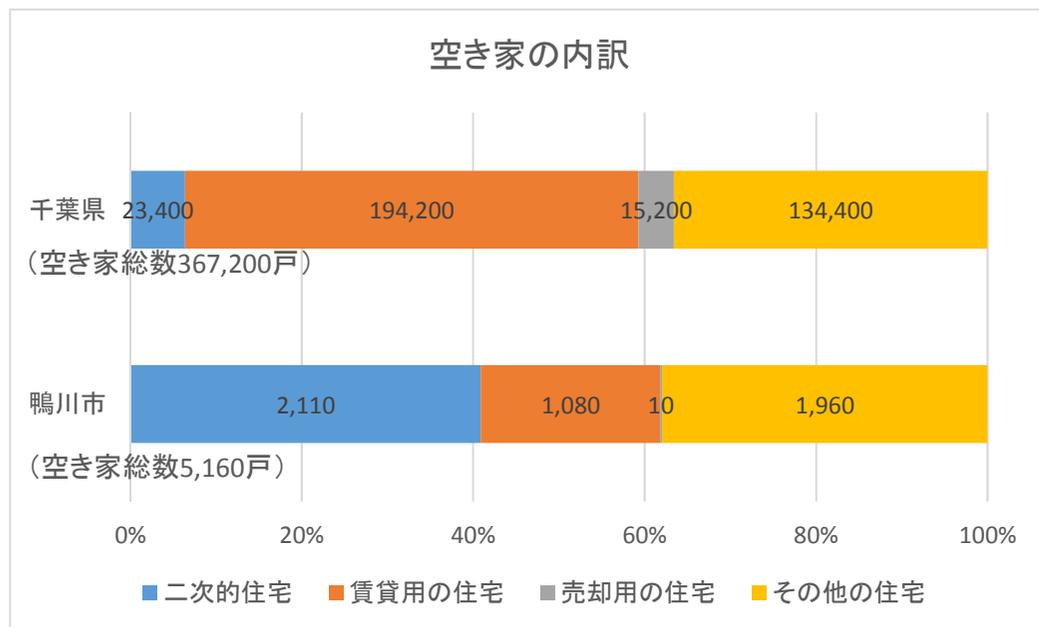
単位	出生率 人	産婦人科・産科医師数(15 ～49歳人口(女)当) 人(千人当)	小児科医師数(年少人口 当) 人(千人当)	保育所定員数(年少人口 当) 人(千人当)
千葉県	1.4	0.4	0.8	89.4
千葉県鴨川市	1.5	2.9	4.4	173.0

出所) 三菱総合研究所 地方創生予測サイト

空き家・空き地

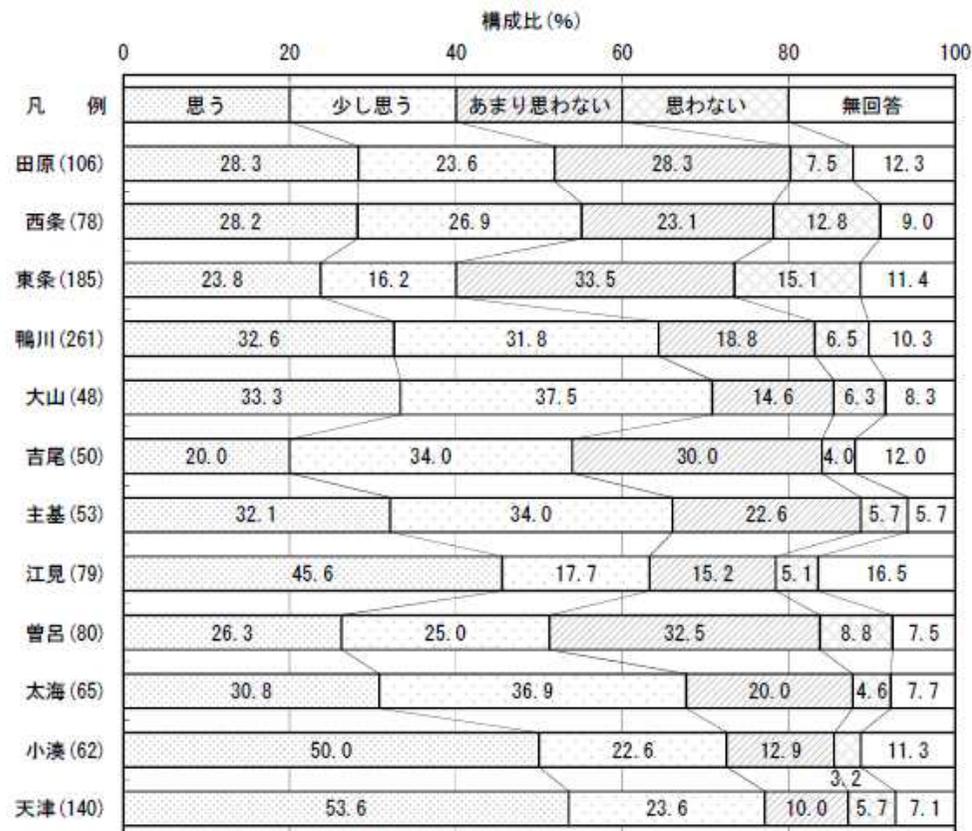
- 国の住宅・土地統計調査（平成25年）では、鴨川市の空き家率は約36%（約5,000戸）と全国の13.5%、千葉県の約15%と比較しても高い割合を占める。
- 特に、鴨川市では、空き家のうち二次的住宅（別荘等）が40%を占め、千葉県の6%に対しても高い割合を占める。
- 鴨川市全域の市民を対象としたアンケート（平成25年度）では、**空き家の増加**に関する実感として、**東条地区を除いた地区で「思う」と「少し思う」の合計が過半を占める**。特に天津地区では77.2%、小湊地区では72.6%、大山地区では70.8%と高くなっている。

<空き家の現状>



出所) 平成25年住宅・土地統計調査（総務省統計局）

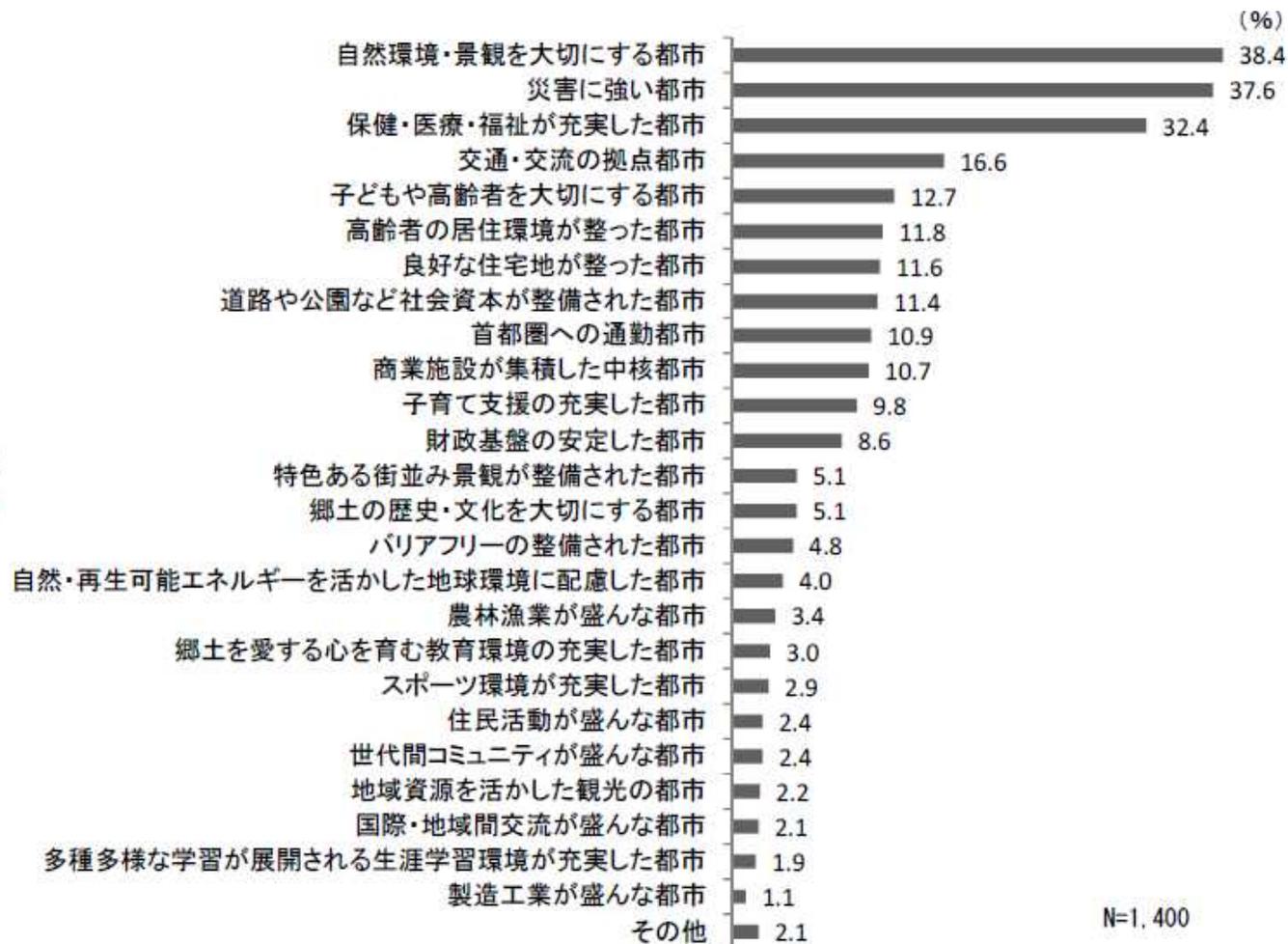
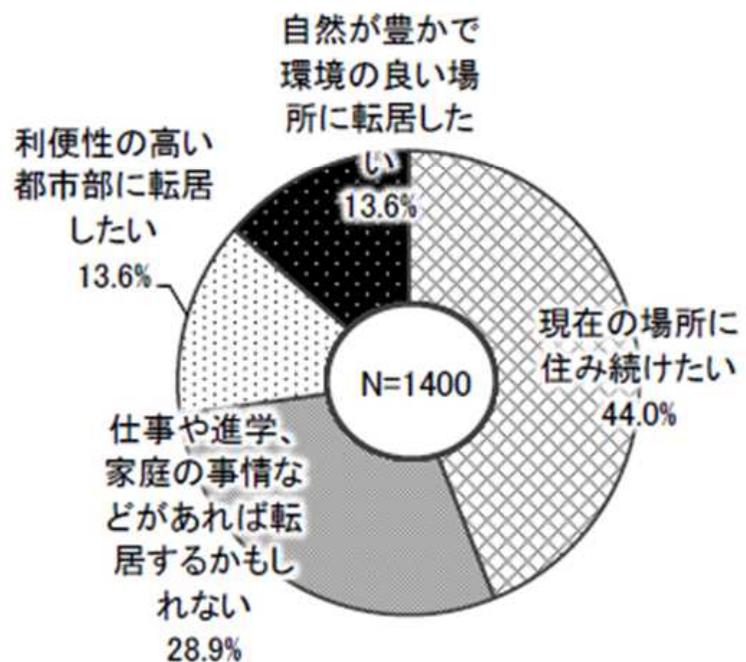
<空き家増加の実感>



出所) 平成25年度鴨川市まちづくりアンケート調査結果報告書

市外ウェブアンケートの結果

- 鴨川市にゆかりのない関東圏居住者を対象としたウェブアンケート調査では、将来の定住意向として、「**現在の場所に住み続けたい**」が44.0%と最も多く、次いで「**仕事や進学、家庭の事情などがあれば転居するかもしれない**」が28.9%となっている。
- 将来住みたいと思う都市像として、「**自然環境・景観を大切にする都市**」が38.4%と最も多く、次いで「**災害に強い都市**」が37.6%、「**保健・医療・福祉が充実した都市**」が32.4%となっている。



出所) 鴨川市ウェブアンケート調査結果 (2014年)

鴨川市の上位計画

第2次鴨川市総合計画

- 基本構想 = 「第2次鴨川市基本構想」、基本計画 = 「鴨川市第3次5か年計画」、実施計画「前期・後期実施計画」からなる。
- 「活力あふれる健やか交流のまち鴨川～みんなが集い 守り育む 安らぎのふるさと～」を将来都市像とし、H28年度からH37年度までの10年間を基本構想の期間としている。

まちづくりの基本理念

基本理念1：「交流」のまちづくり

多くの人々が集う、交流に支えられた賑わいあふれるまちづくり

基本理念2：「元気」のまちづくり

地域全体が活力にあふれ、住む人も訪れる人も元気になる、住んでみたい、ずっと住み続けたいまちづくり

基本理念3：「環境」のまちづくり

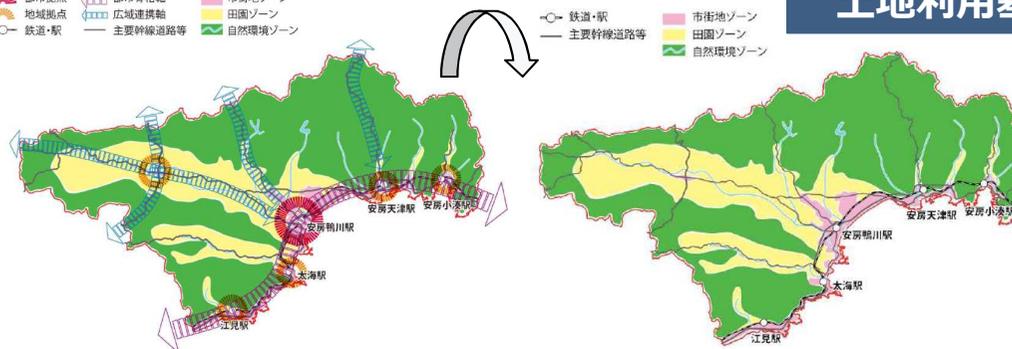
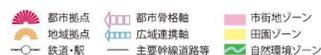
豊かな自然環境と快適な生活環境が調和した、持続的に発展可能なまちづくり

基本理念4：「協働」のまちづくり

産学民官の連携による協働のまちづくり・ひとづくりのもと、みんなが主役のまちづくり

基本理念5：「安心」のまちづくり

市民一人ひとりが安全で健やかに、生涯を通して安心して暮らすことができるまちづくり



土地利用基本構想

将来都市構造は、人々が集い、憩い、活動する場となる「拠点」、人や物の主要な動線を示す「軸」、そして、同じ特性を持った土地利用が連続して広がる範囲を示す「ゾーン」の3つの要素に分類して設定。

①拠点

都市拠点：JR安房鴨川駅を中心に形成された市街地を『都市拠点』に位置付け。都市機能の集積を図る。

地域拠点：鉄道駅を有する天津・小湊・太海・江見地区及び主要地方道鴨川保田線と国道410号の交差点周辺に形成された市街地を『地域拠点』に位置付け。市民生活の中核を担う。

②軸

都市骨格軸：都市拠点と地域拠点の間をつなぐJR外房線・内房線、国道128号を『都市骨格軸』に位置付け、交通機能の維持・強化を図る。

広域連携軸：都市拠点、地域拠点及び周辺都市の間の移動を支える国道410号及び主要地方道を『広域連携軸』に位置付け、道路機能の更なる強化を促進。

③ゾーン

市街地ゾーン：居住地や行政機能、広域的な商業機能が集積する海岸沿いの既成市街地を『市街地ゾーン』に位置付け、都市基盤の充実、質の高い市街地環境の形成を図る。

田園ゾーン：山間の平たん地に広がる農地や集落地帯を『田園ゾーン』に位置付け、農業生産の場となる農地の保全・管理を図るとともに、既存集落の維持・活性化にも配慮した適正な土地利用誘導を推進。

自然環境ゾーン：沿岸部や丘陵・山間部の森林、河川など、豊かな自然環境が広がる地帯を『自然環境ゾーン』に位置付け、多様な主体による適正な保全・管理を図りながら、自然が有する防災機能や環境保全機能の維持を図るとともに、観光資源としての計画的な活用を推進。

出所) 鴨川市ホームページ 第2次鴨川市基本構想
http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/03_kihonkousou.pdf

第2次鴨川市総合計画

施策の大綱

基本方針1:快適で暮らしやすい交流拠点のまち

- 1-1 市街地の整備
- 1-2 居住環境の充実
- 1-3 道路網の整備
- 1-4 公共交通網の充実
- 1-5 上下水道の整備

基本方針4:ともに学び未来を育む教育文化のまち

- 4-1 学校教育の充実
- 4-2 生涯学習の充実
- 4-3 青少年の健全育成
- 4-4 文化の振興
- 4-5 スポーツの振興
- 4-6 国際交流・地域間交流の推進

基本方針2:環境と調和した安心・安全のまち

- 2-1 環境施策の推進
- 2-2 公園・緑地の整備
- 2-3 環境衛生対策の充実
- 2-4 消防・防災対策の充実
- 2-5 交通安全・防犯対策の充実
- 2-6 消費者対策の充実

基本方針5:一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまち

- 5-1 保健・医療の充実
- 5-2 地域福祉の充実
- 5-3 子育て支援の充実
- 5-4 高齢者施策の充実
- 5-5 障害者施策の充実
- 5-6 社会保障の充実

基本方針3:活気あふれ人が集う産業のまち

- 3-1 農林業の振興
- 3-2 水産業の振興
- 3-3 商工業の振興
- 3-4 観光・リゾートの振興
- 3-5 医療・福祉産業の振興
- 3-6 雇用対策の推進

基本方針6:みんなが主役となる協働・自立のまち

- 6-1 地域コミュニティの維持・強化の促進
- 6-2 多様な主体の連携による協働のまちづくりの推進
- 6-3 男女共同参画社会の形成
- 6-4 効率的な自治体経営の推進

出所) 鴨川市ホームページ 第2次鴨川市基本構想

http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/03_kihonkousou.pdf

鴨川市人口ビジョン及び総合戦略

- 鴨川市の人口減少およびそれに伴う諸人口問題の影響を考慮して、「移住・定住の促進」、「若い世代の結婚・子育て等に関する希望の実現」、「時代にあった地域づくりの推進」を目指すべき将来の方向として施策を展開。
- 特に**充実した保健・医療・福祉環境と観光資源の集積とを鴨川市の強みとして認識**し、この強みを活かして「健やかさ」と「交流」にあふれる鴨川市を創造するための施策の重点的な実施を図っている。

地域の特色や地域資源

豊かな自然環境と温暖な気候	<ul style="list-style-type: none"> ・房総半島の南東部にあって太平洋に面し、夏涼冬暖な気候と美しく変化に富んだ海岸線 ・清澄山系や嶺岡山系の豊かな緑 ・大山千枚田に象徴される中山間地の原風景 ・国の特別天然記念物に指定される鯛の浦タイ生息地や天然記念物の指定を受ける清澄の大杉 など
知名度の高い観光施設と体験交流型ツーリズムの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・海のテーマパークである鴨川シーワールド ・太海フラワー磯釣りセンターや仁右衛門島、鴨川松島、道の駅鴨川オーシャンパーク ・プロ野球の県民球団がキャンプを張る充実したスポーツ施設 ・鴨川・小湊温泉郷を形成する数多くの宿泊施設 ・みんなみの里や大山千枚田を中心に展開するグリーンツーリズムの取組や鴨川ガイド協会によるガイドツアー など
新鮮で豊富な食材	<ul style="list-style-type: none"> ・皇室献上米として名高い長狭米と、歴史と伝統ある酪農、園芸 ・黒潮の恵みを受ける海岸部での県下有数の漁獲高を誇る漁業 ・オリジナル丼おらが丼や特色ある郷土料理 など
充実した保健・医療・福祉環境	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端の医療施設を核とした保健・福祉クラスター ・総合保健福祉会館（ふれあいセンター）を拠点とした住民参加型の健康づくりや介護予防の取組 など
特色ある教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区の特色を活かした小中一貫教育 ・4・5歳児の幼稚園教育と合わせて、預かり保育サービスを提供する幼保一元化 ・地域の基幹産業に人材を輩出する大学などの教育機関 など
地域の歴史と伝統行事	<ul style="list-style-type: none"> ・日蓮聖人ゆかりの誕生寺や清澄寺などの名刹 ・江戸幕府直轄牧の遺構や波の伊八の彫刻 ・吉保八幡のやぶさめや北風原の羯鼓舞、和泉の三役などの伝統行事 など

出所) 鴨川市ホームページ 鴨川市総合戦略

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/99sennryaku.pdf>

鴨川市人口ビジョン及び総合戦略

施策・プロジェクト

出所) 鴨川市ホームページ 鴨川市総合戦略

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/99sennryaku.pdf>

鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015~2019年度の5か年)

1 基本的な考え方

鴨川市人口ビジョンにおける人口の将来推計及び人口減少に伴い生ずる事象、影響等の分析を広く市民の共通認識とし、また、目指すべき将来の方向を前提として、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」の活力を創造することを基本認識とします。

このため、総合計画と連動し、地域の特色や地域資源を活かした施策を展開するとともに、「健やかさ」と「交流」にあふれる鴨川市を創造する施策の重点的な実施を図ります。

【目指すべき将来の方向】

- ・移住・定住の促進
- ・若い世代の結婚・子育て等に関する希望の実現
- ・時代に合った地域づくりの推進

【効果検証】

- ・PDCAサイクルを通じて客観的な効果検証を実施
- ・数値目標・客観的な指標の設定
- ・外部有識者等による検証を実施

2 施策・プロジェクト

	【重点施策】	【基本的な施策】
(1) しごとづくり … 鴨川市での安定した雇用を創出する 【基本目標(平成31年度)】 ・雇用創出数 ⇒ 300人 ・人口に占める就業者の割合(15歳以上) ⇒ 5%増 ・市内企業の付加価値額 ⇒ 720百万円増	■健康福祉産業の拡大 医療・福祉環境を活かした関連産業分野の拡大 ■農林水産・商工・観光業の連携促進 地域ブランドの育成や新たな商品開発等	●地域の強みを活かした“しごと”づくりと、充実した労働環境の創出 ●農商工連携等による農林水産業の振興と後継者の確保 ●交通アクセスの整備 ●富の集積と域内循環のための戦略的な施策の展開 ●新たな産業の育成、誘致
(2) ひとの流れ … 鴨川市への大きな人の流れを創る 【基本目標(平成31年度)】 ・転入者数 ⇒ 300人増 ・転出者数 ⇒ 200人減 ・観光入込客数(総合戦略分) ⇒ 230千人増	■高齢者の移住促進 鴨川版CCRC(※1)構想の推進 ■観光プラットフォームの機能強化 鴨川版DMO(※2)の形成	●UJ1ターンの促進 ●大学等教育機関及び地元企業等との連携による地域を支える人材の育成・確保、地元定着の促進 ●元気な高齢者の移住促進 ●産学民官が一体となった戦略的・国際的な観光交流の促進 ●新たな観光交流の創出(スポーツツーリズムなど)
(3) 結婚・出産・子育て … 次代を担う健やかな子どもたちを育てる 【基本目標(平成31年度)】 ・合計特殊出生率 ⇒ 1.50 ・結婚希望実績指標 ⇒ 80% ・保育サービス、施設の満足度 ⇒ 50%(約30%増) 外	■子育てのトータルサポート 子育てに関する総合相談窓口の設置や産前産後ケア等 ■鴨川の未来創生(人財育成) 特色ある教育と、地域の歴史・文化等を活用した教育	●婚活、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ●子ども・子育て支援環境の充実 ●子育てに係る経済的負担の軽減 ●特色ある教育の推進 ●郷土への誇りと愛着の醸成
(4) 地域づくり … 持続可能な地域社会を構築する 【基本目標(平成31年度)】 ・平均寿命 ⇒ 延伸 ・健康寿命 ⇒ 延伸 ・地区コミュニティ活動等の満足度 ⇒ 40%(約20%増)	下支え	●安心して暮らすことができる地域コミュニティの維持・再生 ●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の合宿誘致などを契機としたユニバーサルデザインによるまちづくり ●ライフステージに応じた健康づくりの促進 ●高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる環境づくり ●ファシリティマネジメントの強化

※1「CCRC」=都会の高齢者が地方に移り住み、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送ることができるような地域共同体(Continuing Care Retirement Community)

※2「DMO」=観光地の一体的なブランドづくり、情報発信・プロモーション、マーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進組織(Destination Management/Marketing Organization)

鴨川市人口ビジョン及び総合戦略

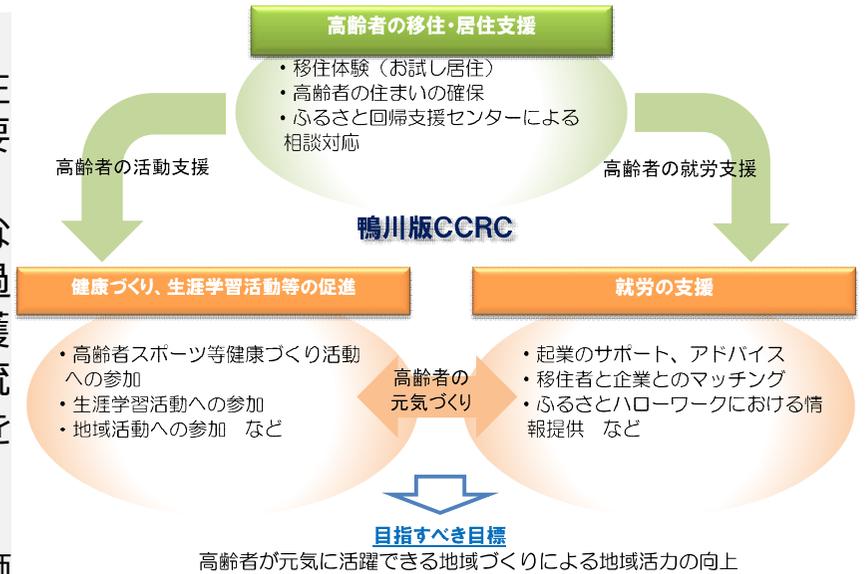
重点施策

高齢者の移住促進（鴨川版CCRC構想の推進）

東京圏を始めとする地域の高齢者が、自らの希望に応じて鴨川市に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような環境づくりを進める。

また、市内外の健康長寿を志向する高齢者等のニーズに応えるため、豊かな自然と充実した医療・福祉など、本市の特色と強みを活かし、誰もが快適で過ごしやすい住環境と新たな社会システムを創出するとともに、高齢者福祉・介護事業を含む健康福祉産業の振興を図り、ひいては雇用の創出と若年者の流入、地域経済の振興にも資するため、官民一体となって「高いQOL（※）を実現する社会」、すなわちプラチナ・コミュニティの構築を目指す。

※「QOL（Quality of Life）」=生活の質と訳され、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念



展開の方向

■ 鴨川版CCRC構想等の策定

■ 高齢者の移住・居住支援

（ふるさと回帰支援センターにおいて移住に関するワンストップ相談の実施、農家民泊の拡充、「サービス付き高齢者向け住宅」や空き家等を活用して高齢者の居住空間を確保、地域全体で見守り等を行う環境の整備）

■ 健康づくり、生涯学習活動等の促進

（スポーツなどの健康づくり活動や生涯学習活動等のプログラムづくり、コミュニティ活動など、地域社会におけるさまざまな活動への参加を促進）

■ 就労の支援

（高齢者の起業のサポートやアドバイス、ふるさとハローワークにおいて、移住者と企業とのマッチング など）

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値（基準年次）	目標値（平成31年度）
鴨川版CCRC 立地箇所数（累計）	—	2箇所

出所）鴨川市ホームページ 鴨川市総合戦略
<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/99sennryaku.pdf>

鴨川市人口ビジョン及び総合戦略

人口ビジョンにおける将来人口の展望

● 合計特殊出生率：

- 2020（平成32）年 1.50、
- 2030（平成42）年 2.10 達成
- 2040（平成52）年の総人口 28,652人
（シミュレーション1）

● 移住・定住：

- 約 2,500人増

● 総人口：

- 2040（平成52）年には約 32,000人の人口を維持

出所) 鴨川市ホームページ 鴨川市人口ビジョン（平成28年1月）

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/99vizyon.pdf>

(1) 将来展望の期間

- 目標期間を25年後の2040（平成52）年とし、人口32,000人程度の維持を目指す。
- ただし、鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連性を考慮し、5年後の2020（平成32）年、15年後の2030（平成42）年を中間時点として取組と実績を検証しつつ、取組の見直しを行い、目標の達成を目指す。

(2) 人口の将来を展望するに当たっての視点

① 自然増減（出生等）に関する目標設定の視点

- 2020（平成32）年に1.5、2030（平成42）年には人口置換水準2.07を上回る2.10を達成し、それ以降は2.10の維持を図る。

② 社会増減（移動）に関する仮定

- 施策誘導効果により約2,500人の純増を目指す。推計上は、5年ごとに500人純増すると仮定する。

(3) 人口の将来展望

- 上記の展望に従って出生率向上及び移住・定住促進の施策誘導を行うことにより、2040（平成52）年には人口総数31,980人、約32,000人となる。国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）の推計値と比較し、約5,300人の増加が見込まれる。

- 年齢3区分別人口の推移をみると、施策誘導を行うことにより、2020年に37.2%と推計される老年人口比率が2040年には34.0%に低下し、年少人口比率は11.0%から15.4%に上昇させることができると推計される。国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）の推計値と比較し、老年人口比率は5.3%の低下、年少人口比率は5.7%の上昇が見込まれる。

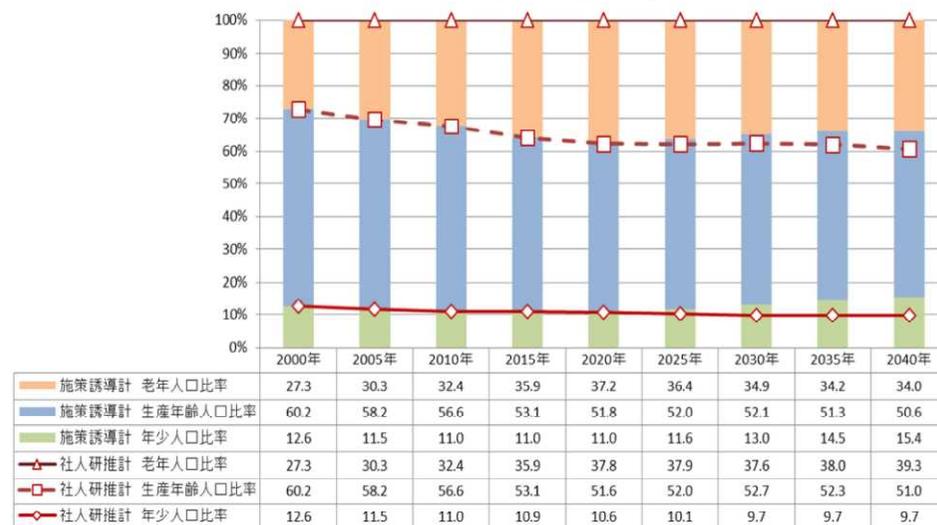
将来目標人口の推移



社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）の推計値。

施策誘導推計：出生率が2030年で2.1、移動人口が2040年までに約2,500人増とした推計

将来目標人口（年齢3区分別）の推移



鴨川市過疎地域自立促進計画

- 旧天津小湊町は平成17年に鴨川市と合併した地区であるが、過疎地域とみなされる区域として過疎地域自立促進特別措置法の適用を受けている。
- 具体的には「産業の振興」、「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」、「生活環境の整備」、「高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進」、「医療の確保」、「教育の振興」、「地域文化の振興等」、「集落の整備」などの対策・事業計画を立てている。



高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

現況と問題点：

- 鴨川市の5歳以上の人口の比率は35.2%、このうち旧天津小湊町の区域は39.9%であり、今後も高齢化が進んでいくことが予測される。
- ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者等が増加。

高齢者施策の充実

- 高齢者福祉等施策全般の総合的な推進
 - 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定及び推進
- 介護保険事業の円滑な運営・推進
 - 介護保険事業の運営
 - 地域支援事業（介護予防事業）の推進
 - 介護予防の推進
 - 認知症高齢者の支援
 - 在宅医療・介護連携の推進
 - 総合相談体制の充実
- 医療・福祉分野における人材の確保
 - 介護人材の確保
- ひとり暮らし高齢者の支援
 - 緊急通報システムの整備等
 - 高齢者世帯等の安否確認
 - 配食サービスの促進
- 高齢者の生きがいづくり活動の促進
 - 老人クラブ活動の促進
 - シルバー人材センターの活用
- 敬老事業の促進
 - 敬老事業の促進

医療の確保

現況と問題点：

- 市内には大規模な民間病院をはじめ市立国保病院などが立地し、このうち旧天津小湊町の区域には2つの医院（呼吸器内科・内科）と2つの歯科医院が立地。
- 市内に24時間体制の救急病院がある一方で、広域的な救急医療体制も構築されており、旧天津小湊町の区域を含め、医療水準が比較的高い恵まれた環境。
- 旧天津小湊町の区域では、天津小湊保健福祉センターを活用し、保健師、管理栄養士等による食と運動を重視した教室の開催や介護予防サポーター等による地域の自主活動グループを育成・支援。
- 医療環境の維持と主体的な健康づくり、生活習慣病・介護予防が必要。

医療環境の充実

- 地域医療環境の充実
 - 救急・休日・夜間医療の充実
- 医療・福祉分野における人材の確保
 - 看護師等の確保

健康の推進

- 健康福祉施策全般の総合的な推進
 - 健康福祉推進に関する計画の策定及び推進（再掲）
- 保健サービスの充実
 - 生活習慣病対策の充実
 - 母子保健の推進
 - 歯科保健の推進
 - 予防接種の促進
 - 自主的な健康づくりの支援
- 地域における健康づくり組織の育成・支援
 - 食育・栄養改善事業の推進
 - 健康づくり活動の促進
- 保健・医療等に関する情報ネットワークの構築
 - 総合相談体制の充実（再掲）

出所) 鴨川市ホームページ 鴨川市過疎地域自立促進計画

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/kamogawasikasokeikaku.pdf>

鴨川市都市計画マスタープラン

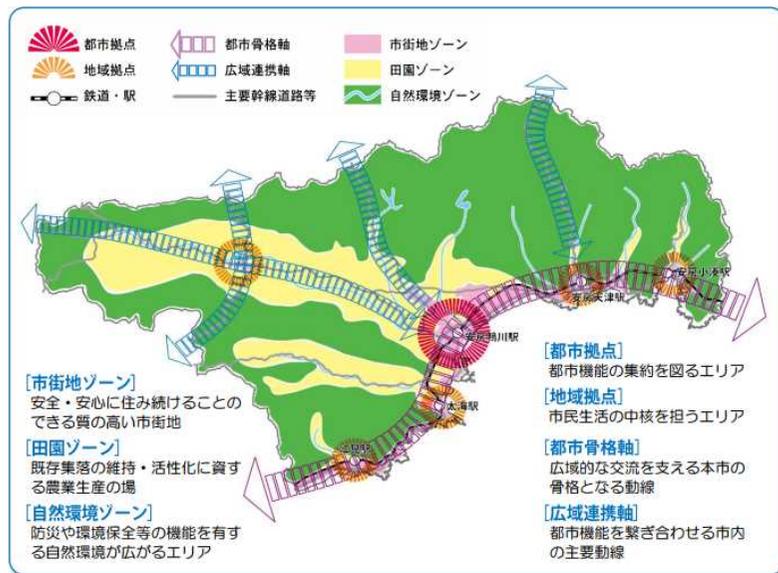
- 旧鴨川市で都市計画マスタープランを策定後10年余りが経過し、都市を取り巻く社会経済環境が大きく変化してきたため、平成28年3月に全市域を対象とした鴨川市都市計画マスタープランを改定。
- 「安全・安心」な都市づくり、「持続可能」な都市づくり、「協働」による都市づくり、の3つの基本理念を掲げる。

基本方針

地域が輝く拠点連携型の環境共生都市・鴨川 ～ 鴨川版コンパクトシティの創出 ～

生活拠点となる地域（鴨川、天津小湊、江見、長狭）が分散しているため、住民が将来にわたって安全・安心で快適に住み続けることができる都市づくりが必要。

様々な地域や拠点が有機的なネットワークでつながった「鴨川版コンパクトシティ」の創出を目指す。



将来都市構造図

土地利用の方針

適切な土地利用誘導による質の高い市街地の形成

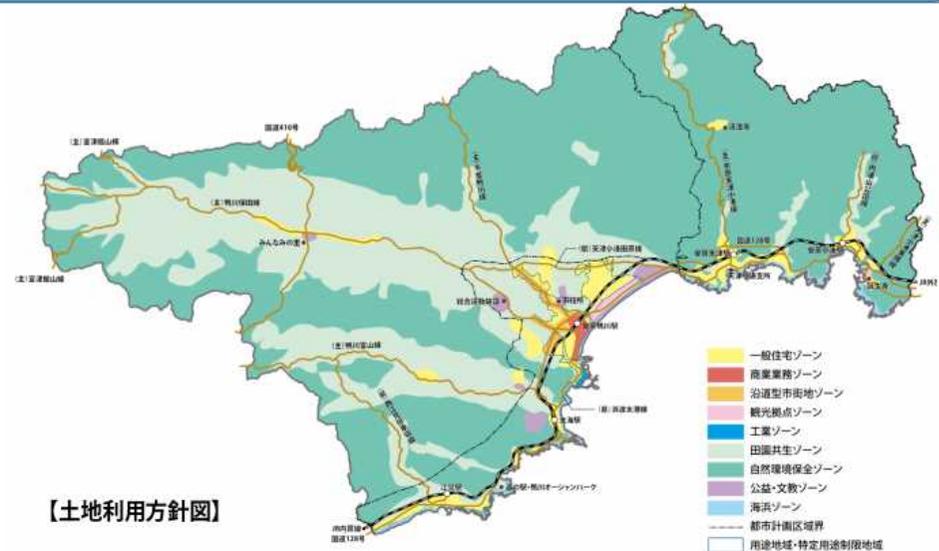
- 都市計画区域の統合・再編の促進
- 都市計画制度の新規導入に向けた検討
- スプロールの抑制に向けた既存市街地・集落内における未利用地・空き家の活用
- 郊外集落の維持・活性化に向けた土地利用の推進

将来にわたって住み続けることができる住環境づくり

- 地域資源の連携による定住促進に向けた魅力ある都市づくり
- 既存集落における建物更新を契機とした狭あい道路の整備

豊かな自然環境の適切な管理・保全

- 関連法令の適正運用による管理・保全
- 積極的な利用に基づく質の確保



出所) 鴨川市ホームページ 鴨川市都市計画マスタープラン

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/21/gaiyou.pdf>

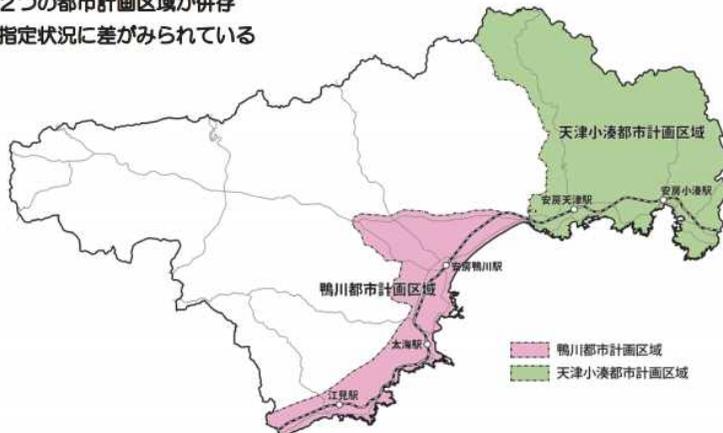
鴨川市都市計画マスタープラン

基本施策

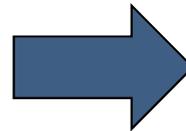
項目	概要
県と連携した都市計画区域の再編及び見直し	本市に併存して指定されている鴨川都市計画区域と天津小湊都市計画区域の2つの非線引き都市計画区域の統合・再編を促進し、一体的な土地利用誘導に基づく質の高い都市づくりを目指す
地域地区の見直し及び導入の検討	用途地域の点検・見直し、土地利用誘導施策の新規導入、防火地域・準防火地域の新規既定の検討
計画的な道路整備の展開	道路整備に向けた計画の具体化及び事業化を促進し、計画的な道路網の形成を進める
既存市街地における狭あい道路の整備及び建物更新の促進	建物更新に伴うセットバックによる道路空間の確保、共同化による建て替え促進、連坦建築物設計制度（建築基準法第86条第2項）の導入検討
空家の管理・活用	空家状況の調査、データベース化、空家の管理、新たな住人の受け皿としての活用
都市公園の整備	多目的施設を含めた施設周辺を都市公園法に基づく都市公園へ移行する
雨水排水路の整備	機能の長寿化、浸水被害がみられる地域における排水機能の強化

本市の現状の都市計画区域

- 2つの都市計画区域が併存
- 指定状況に差がみられている



関係機関との協議・調整



本市が目指す都市計画区域のイメージ

- 1つの都市計画区域に統合・再編
- 天津小湊地域における一部エリアの除外
- 土地利用状況に応じた一部編入の検討



出所) 鴨川市ホームページ 鴨川市都市計画マスタープラン

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/21/gaiyou.pdf>

健康福祉推進計画

- 目標像：みんなで取り組もう 一人ひとりが輝く「元気」のまち 鴨川
- 人口減少や少子高齢化を背景として、行政による公的な福祉サービス等の支援だけではすべての市民のニーズに対応していくことが難しくなっている。
- 市民一人ひとりが健康づくりの意識を持って自主的な取り組みを行っていける仕組みづくりが重要。

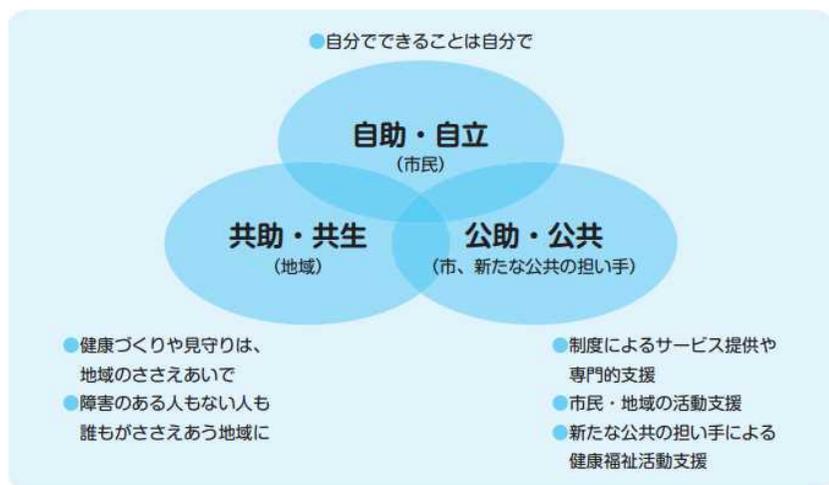
基本方針

健康寿命の延伸を目指した健康づくり・介護予防意識の醸成

市民一人ひとりが健康意識を持って自主的な健康づくりを行っていける仕組みづくりに取り組む

地域の自立生活支援に向けた取り組み

高齢者・障害のある人・生活困窮者など、誰もが地域の中で、いきいきと健康で自立した生活が送れるよう、ささえあいの仕組みづくりに取り組む



鴨川市の課題

課題の概要

家庭や地域の連帯感、地域的自治組織の弱まり

高齢者の社会的孤立

人口減少・少子化に伴う子どもの減少

空き家や空き地の増加

生活困難者や虐待といった様々な問題を抱えている人たちの増加

生活習慣病の有所見者や要介護といった支援が必要な人の増加

健康意識の低下

役割分担のイメージ 出所) 鴨川市ホームページ 健康福祉推進計画

http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/18/2_kenkoufukushi_all.pdf

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

- 平成37年には団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になることから、超高齢化社会の到来による様々な事態に備える必要がある。

基本方針

うるおいのある健康福祉の都市
～ふれあい輝く『元気』のまち～

「うるおいのある健康福祉の 都市～ふれあい輝く『元気』のまち～」を基本理念とし、医療・介護の連携強化を図り、高齢者が元気で健康に住み慣れた地域で生活でき、安心して必要なサービスを利用できるような体制の充実と強化を図る。

重点目標

～鴨川市における地域包括ケア体制の充実に向けて～

(1) 地域ささえあい体制づくり

- 生活支援・介護予防の充実
- 認知症施策の推進
- 権利擁護の推進（成年後見制度等の利用促進及び普及啓発）
- 地域ささえあい拠点の充実

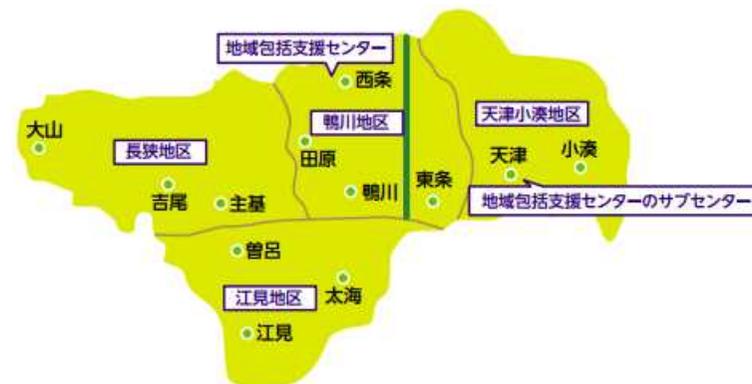
(2) 医療・介護連携の体制づくり

- 在宅医療・介護等の専門多職種連携（広域・市域）研修の実施
- 在宅医療・介護連携支援センターの設置・運営
- 地域住民への在宅医療・介護サービス等の普及啓発
- 広域的な地域包括ケアネットワークの構築

基本施策

基本目標	基本施策
いつも元気・健康でいられるまち	社会参加と生きがいづくりの促進
	健康づくりの推進
	介護予防の推進
ふれあい、ささえあいのある生活しやすいまち	地域ささえあい体制づくり
	安全で快適な生活の確保
	医療・介護・保険・福祉の連携
いつまでも安心して暮らせるまち	高齢者福祉サービスの充実
	介護保険サービスの充実

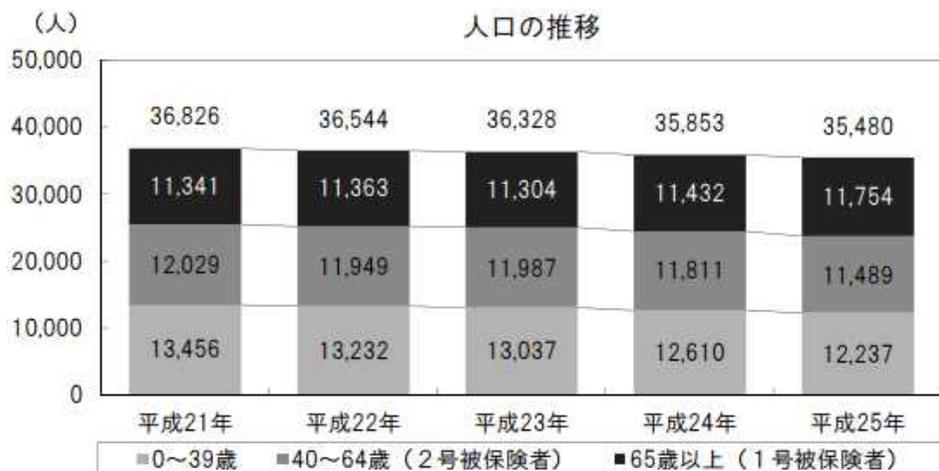
日常生活圏域の設定



出所) 鴨川市ホームページ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/17/keikaku.pdf>

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

鴨川市の高齢化の現状



資料：登録人口

総人口は減少している中、**65歳以上は年々増加している**。一方、0～39歳、40～64歳は減少傾向にある。また、**高齢者の家族構成の大半が「家族と同居」**であり、一般高齢者の1割強は「一人暮らし」となっている。



資料：登録人口

高齢化率は年々上昇しており、**平成25年では33.1%**となっている。全国平均は平成25年で25.1%（※1）であるため、鴨川市は**全国に比べ高齢化がより進んでいる**ことがわかる。また、いずれの年も**前期高齢者よりも後期高齢者が多く**、さらに後期高齢者は年々増加している。

計画の期間

平成 37 年度までの目標設定



出所）鴨川市ホームページ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
<http://www.city.kamogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/17/keikaku.pdf>

出所）内閣府 平成27年版高齢社会白書（概要版）（※1）
http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2015/html/gaiyou/s1_1.html